

令和8年度 消防職員被服 仕様書

新発田地域広域消防本部

この仕様書は、新発田地域広域消防本部（以下、「発注者」という。）が調達する消防職員被服の仕様について定める。

1 総則

- （１）製作については、消防吏員服制基準（昭和 42 年 2 月 3 日消防庁告示第 1 号）に定めるもののほか、品目ごとの特記仕様書によるものとする。
- （２）仕様素材は、全て良質なものを使用し、また製作工程上の品質管理の適正を図ること。
- （３）仕様書に記載のない事項についても、誠意をもってあたり、優美な製品に仕上げること。

2 品目及び数量

別紙 1 「令和 8 年度 消防職員被服 内訳書」のとおりとする。

3 納入期限

令和 9 年 3 月 3 1 日

ただし、完成した品目から、順次納入するものとする。

4 納入場所

発注者で検収後、各署所へ納入すること。各署所の納入内訳は、別途指示する。

5 納入方法

1 枚ごとにビニール袋に包装する。ただし、発注者が別に指示した品目においては、この限りでない。また、納品書を添付すること。

6 補足事項

- （１）受注者は、納入前に自主検査を行うこと。
- （２）検収後であっても、欠陥または傷、汚れ、その他外観を損なう製品であると認められた場合には、受注者の責任とし、無償で補正または交換すること。
- （３）発注者の指示があった場合は、採寸を行うこと。
- （４）発注者の指示があった場合は、見本を製作し、承認を受けること。その場合、本製作は、見本の承認後とすること。
- （５）仕様書の内容に疑義が生じた場合には、発注者と協議すること。

冬制服 特記仕様書

第1 仕様

1 使用素材、材料

① 使用生地	ニッケ(株) EC6000 E紺(ウール50%・再生ポリエステル50%)
② 縫い糸	共色 ポリエステル糸 #50
③ 針目	地縫い、飾縫いとも10mm間4針以上とすること。
④ ボタン糸	40/3機械付け用、又は手付け用糸
⑤ ボタン付け	手付けの場合は、2本糸にて一つ穴に2回以上通し、根巻3回以上のこの字掛けとする。
⑥ 穴かがり	鳩目
⑦ ボタン	金色金属製消防章這入り20mm6個2つ掛けボタンとし、内ポケット2個、中つり止め1個には黒色練りたらい型径14mmのボタンを使用する。
⑧ 裁断	各部とも斜め裁ち及びはぎを認めない。ただし裏中央1か所ははぎを認める。
⑨ 仕上げ	各部とも糸屑を取り、アイロンを入念にしコテズレ等が出さないこと。 洗濯、雨等により著しく収縮、変形の無い方法を講ずること。

2 縫製

(1) 上 衣

① 型式	剣襟、ダブル型、背抜き仕立て、6つボタン2つ掛けとする。
② 襟芯及び襟先	襟芯を入れ、腰刺し8本以上、山刺し12本以上とする。
③ 襟付け	縫い倒し、ミシン付け縫いとする。
④ 脇及び 胸ポケット 内ポケット	脇ポケットは、雨蓋付とし口幅150mm、深さ約190mmを左右各1個付ける。 左胸部には口幅110mm、深さ150mmの胸ポケットを1個を付け、両端をかんぬき止めとする。内ポケットは口幅110mm、深さ180mmの物を左右各1個付ける。 両端は本縫いかんぬき止めとする。
⑤ 肩パット	モルトパットを使用する。
⑥ 襟付け	ミシン縫いきせかけとする。
⑦ 肩縫い	表地ミシン割り縫い、裏地はミシン縫いとする。
⑧ 袖	袖口140mmから150mm、袖口より100mmの位置に袖章を付ける。
⑨ 袖章	黒色編織り線幅30mmの物を付け階級に応じ金、銀線及び消防章を付ける。
⑩ 階級止め	右胸中央部に共生地で横23mm、縦20mmの物をループ状に付ける。
⑪ 氏名札(片布)	上前内ポケット下部に横50mm、縦70mmの指定片布を付ける。

※ 女性用は、右上前身頃とし、その他は男性用と同様とする。

(2)ズボン

① 型式	ワンタックスラックス、裾シングル、帯付、 アジャスター付
② 脇ポケット	左右2個の縦ポケットとし、上端より80mmの位置に、口幅145mm、深さ150mmのポケットを、かんぬき止めで付ける。
③ 尻縫い・小股	割り縫いとし、小股には50mmかんぬき止めとする。

④ ベルト通し・腰帯	7本とし上端から10mm下げ、幅8mm、使用部分45mmの物を付ける。4cm幅の腰帯を付け、左右に9cmのスライド式アジャスターを付ける。
⑤ 股下・腰裏	2本縫い、割り縫いとし、腰裏はマーベルトを付けない。
⑥ 前立て・タック	ファスナーYKK3号を隠し付けし、タックは左右各1本付ける。
⑦ 裾口・膝当て	シングル仕上げ、靴ずれ付きで膝には当てを付ける。
⑧ 尻ポケット	右後部に1個、幅140mm、両端40mm、中央60mmの雨蓋を付ける。
⑨ 氏名札(片布)	左脇ポケット裏に、上衣と同様の指定片布を付ける。

第2 その他

- 1 受注者は、原反生産者(紡績メーカー)の発行する『原反出荷引受証明書』及び指定生地を契約後7日以内に発注者に提出すること。
- 2 繊維製品品質表示規程(平成29年消費者庁告示第4号)に定める方法等により、氏名札の下部に印刷又は小片札にて表示する。

消防女性吏員用制服

第1 総則

- 1 本仕様書は、発注者において使用する女性吏員用制服の製作に適用する。
- 2 完成品は、寸法、形状等がこの仕様書に定めるとおりであり、傷、汚れ、その他の外観を損なうような製品であった場合は速やかに発注者と打ち合わせをし対処する。
- 3 受注者は、原反生産者（紡績メーカー）の発行する『原反出荷引受証明書』及び指定生地を契約後7日以内に発注者に提出すること。

第2 仕様

- 1 表生地
ニッケ C6000 ウール 50% 再生ポリエステル 50% 発注者指定色 濃紺
- 2 裏地
ポリエステル 100% 綾織 黒
- 3 縫糸
ポリエステル 100%

第3 形式

- 1 上衣
背広上衣ダブル型 4つボタン 2つ掛け ピークラベル 2枚袖
- 2 ズボン
長ズボン マーベルト付き 左右サイドポケット付き ツータック

第4 縫製条件

- 1 各部の縫い合わせが優良で縫目飛び、縫外れ、縫曲がり等が欠点のないこと。
- 2 穴かがり、ボタン付け、付属品等がしっかりしていること。
- 3 キズ、汚れその他外観を損ねないこと。
- 4 地縫い及び飾り縫い目数 30mm 間で 15 針以上、まつり縫い 8 針以上とする。
- 5 かんぬき止め又は返しミシンを 3 回以上する。
- 6 縫代は 10mm を標準とする。
- 7 ボタン付けは手付の場合、2 本糸で 3 回通して根巻きを 3 回以上とする。

第5 上衣

- 1 衿に芯を入れ、飾りステッチで押さえミシンで衿付けをする。
- 2 左胸には切りポケット、口幅 110mm、深さ 150mm を前端より 120mm の位置に付ける。
- 3 箱両端は押さえミシンをかける。

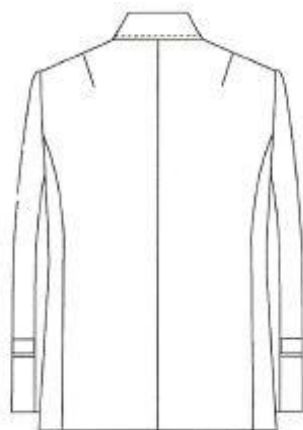
- 4 左右腰には雨蓋片玉斜めポケット、口幅 140mm、蓋幅 50mm、玉縁幅 10mm とする。
- 5 深さ 200mm を前端より 19mm の位置に付け、ポケット口両端は本縫いミシンでかんぬき止めする。
- 6 左内側に 1 個内ポケット付け 130mm のすべりこみポケットとする。
- 7 袖は 2 枚袖で袖口から 90mm 上に幅 30mm の黒蛇腹線を縫い付け、階級にに応じた袖章付きとする
- 8 下前に飾りボタン 1 個と、ボタンは上前に 2 個、下前に 2 個付ける。
- 9 下前にはボタンに合わせてボタンホールを付ける。
- 10 下前胸部に階級章止めを付ける。

第6 ズボン

- 1 左右脇ポケットは斜めポケットとし、飾りステッチ及び両端をかんぬき止めをし、右ポケットに忍びポケットを付ける。
- 2 タックは深さ 20mm の外ヒダを左右 1 本ずつ付ける。
- 3 前タック深さ 20mm の左右各 1 本としタック脇にダーツを各 1 本入れる。
- 4 後ダーツは左右各 1 本入れる。
- 5 前立ては芯を入れ前カンと目とし約 190mm のファスナーを付ける。
- 6 30mm のマーベルトを付け、バンド通しは 5 本とする。
- 7 腰部から膝下まで裏地を付ける。

第7 補足

- 1 生地、縫製、仕様に質疑がある場合は発注者と協議解決する。
- 2 発注者より要請があった場合は、採寸を行うこと。
- 3 発注者において検収し、後に各署所に納品する。

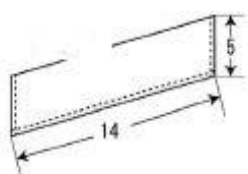


後

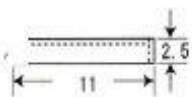


前

- ・腰ポケット
(片玉縁、フラップ付)

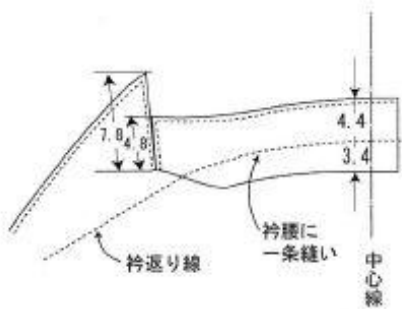
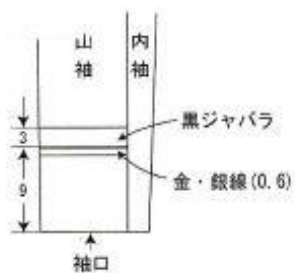


- ・胸 箱ポケット

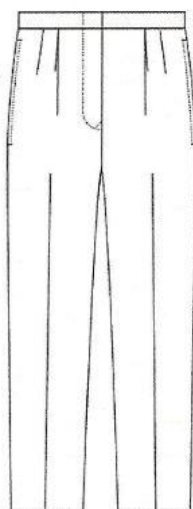


- ・ピークトラベル
(左のラベルにパッチ用眠り穴を切る)

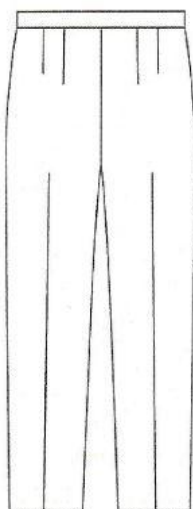
- ・袖口のテープ



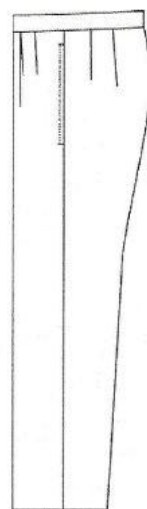
(単位cm)



前



後



横

女性冬制服 サイズ表

	上 衣				
サイズ	7	9	11	13	15
肩 巾	38	39	40	41	42
胸回り	90	94	97	100	103
着 丈	66	66	66	67	67
袖 丈	54	54	55	55	56

	ズ ボ ン						ス カ ー ト		
サイズ	胸回り	腰回り	渡り巾	ズボン丈	股下	裾口巾	胸回り	腰回り	スカート丈
7	60	94	32	112.5	85 ハーフ	22	60	93	64
9	63	97	33	113		22	63	96	64
11	66	101	34	113		23	66	99	64
13	69	105	35	113.5		23	69	102	66
15	72	108	36	113.5		23	72	105	66
17	75	111	37	114		24	75	108	66
19	78	115	38	114		24	78	111	66
公差	+ 2 -0.5	+ 2 -0.5	+ 1 -0.5	+ 2 -0.5	+ 2 -0.5	+ 1 -0.5	+ 2 -0.5	+ 2 -0.5	+ 1 -0.5

盛夏服 特記仕様書

第1 仕様

1 使用素材、材料

(1) 生地一般

- ア 原糸は、糸ムラ、番手ムラ、撚りムラなど目立たない良質のものを使用する。
- イ 織り上がりは、均整で、織りキズ、糸筋、汚れなどの品質を損なう欠点がないものとする。

(2) 表生地及び材料等

- ア 別表（1）のとおり
- イ 試験方法は日本産業規格（以下、「JIS」という。）等によること。

2 形状

- (1) 上衣はシャツ型、台襟付シャツカラー、パネルフロント、後ろヨーク、胸左右雨蓋付きアウトポケット、肩章付き、左袖エンブレム台座付きとする。（女性用は右上前身頃とし、その他は男性用と同様とする。）
- (2) ズボンはツータック、裾シングル又はフリータイプ、伸縮式ウエストアジャスター（ウエストストレッチ）、前ファスナー、後ろ左右尻片玉切込みポケット付きとする。

3 縫製

(1) 一般

- ア 各部の縫製は、縫い目の飛び、はずれがない優良なものとする。
- イ 縫い代は、各部分に適した十分なものとする。
- ウ 糸調子は、縫い目が均一で縫い曲がりが目立たないものとする。
- エ 縫い目数は、次の数値を標準とする。

地縫い運針数	12針以上／3.0cm間
飾りステッチ	12針以上／3.0cm間
- オ 飾りステッチ幅は、0.5cm幅と端ミシンとする。
- カ 飾りステッチは、表ミシンとする。
- キ ボタン穴は、ミシン穴かがりとする。
- ク 各部の合標、曲線縫いは、縫い合わせにずれがないようにする。
- ケ アイロン仕上げは、品質管理を損なわないようにする。
- コ 接着芯を使用する部分は、すべて高压加熱式芯張りプレス機を用いて全面接着をする。
- サ 布目は、パターン指定どおりにする。

(2) 上衣

ア 襟

- (ア) 上襟剣の長さは7.0cmとし、幅は背中身で4.5cmとする。

- (イ) 台襟幅は、背中心で3.5cmとする。
- (ウ) 台襟にて上襟を挟み縫いし、身頃に縫い付ける。
- (エ) 台襟下部は二条縫いとし、下部の一条は裏を落とす。
- (オ) 上襟の周囲には（下部を除く）、0.5cmの飾りステッチをかける。
- (カ) 表襟はゆとりを持たせ、折り返りの厚みを引かれないようにする。
- (キ) 上襟には、作り芯を使用する。
- (ク) 襟つりは、幅概ね1.0cmの共布又は織りテープとし、襟腰中央下端に挟み縫いする。

イ 肩縫い

ヨークで前身を挟み、端ミシンで縫う。

ウ 肩章

- (ア) 芯を入れ周囲は地縫い返しし、0.5cmの飾りステッチをかけ（袖付け部を除く）先端にボタン穴をかがる。
- (イ) 寸法は、根本幅5.0cm・先幅4.0cmを基準とし、先端にて約1.5cmを槍で持ち出す。
- (ウ) 肩章の先は、襟腰よりやや控える。
- (エ) 肩峰点より概ね5.0cmのところで、肩章と身頃を縫い止めし、袖付け部分はクロスに飾りステッチをかける。

エ 袖付け

- (ア) インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。
- (イ) 縫い代は身頃側に片倒しとし、0.5cmの飾りステッチをかける。

オ 袖、カフス及びエンブレム台座

- (ア) 袖は1枚袖とし、袖縫いは身頃脇縫いと通し縫いする。
- (イ) インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがり（巻状で飾り縫いも可）とする。
- (ウ) 長袖の袖口の剣ボロは身頃を挟み、端は二つ折りにして端飾りステッチを施す。
- (エ) 長袖の剣ボロは、上前幅2.5cm、丈16.5cm、下前幅1.0から1.2cm、丈13.5cm以上、開き13.5cmを目安とし、開き止まりは二条縫いとする。
- (オ) 長袖の剣ボロには、カフス根本より5.5cm上部にボタン穴かがりをし、下ボロに付けた相方のボタンにて留められるようにする。
- (カ) 長袖のカフス付け部は1.0cmから1.2cmと端ミシンの二条縫いとする。
- (キ) 長袖の外側に深さ1.5cm（型紙数値）のひだを2本取り、袖開きの方へ倒し、剣ボロの端とひだの間隔は約3.0cmとする。
- (ク) 長袖のカフスの仕上がり幅は、6.5cm（±0.3cm）とし、角は小丸に落とす。
- (ケ) 長袖のカフスの上袖側にはボタン穴かがりをし、下袖側にはレギュラーボタンとアジャストボタンの2個を付ける。
- (コ) 長袖のカフス周囲（付け部は除く。）は、0.5cmの飾りステッチをかける。
- (サ) 半袖の袖口は3.5cm幅の表折り返しのカフスとし、袖口より3.0cmに飾りミシンをする。
- (シ) エンブレム台座は、指定の型に切り抜いたエンブレム用面テープ（B面、表生地同色系）を左袖の肩付け根より8.0cm下に上部を合せ、表生地同色系の糸で縫い付ける。

カ 脇縫い

袖縫いと通し縫いし、インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。

キ 胸ポケット

- (ア) 左右の胸の位置に、張り付けポケットを周囲端ミシンで縫着する。
- (イ) ポケット寸法は、口幅 13.0 cm・内側深さ 14.0 cm・外側深さ 15.0 cmを目安とし、下角は、隅切りにする。
- (ウ) 口布は 2.0 cm以上とし、裁ち目は三つ折り縫いにして隠すか、オーバーロックミシンかがりとする。
- (エ) ポケット中央部に深さ 1.0 cmの拌みひだを 2 本取り、0.5 cmの飾りステッチをかけ、ひだは中央に向けて倒す。2 本のひだ端は、綺麗に合うようにする。
- (オ) 口の両端はかんぬき止め（ミシンかんぬきコ型又は三角）とし、上部中央にボタンを付ける。
- (カ) 雨蓋は芯を入れて地縫い返しし、中央部穴にボタン穴をかがり、周囲に飾りミシン（上部を除く。）をかける。
- (キ) 雨蓋の寸法は、幅 14.0 cm・高さ中央 6.5 cm・両端 4.5 cmを目安とし、五角形の本塁型とする。
- (ク) 雨蓋の上端は前身頃に縫い付け、折り返して、押さえミシンをかける。折り返し部分の端は、表に出ないようにする。
- (ケ) 左ポケット雨蓋の内側より 1.5 cmに、口幅 3.0 cmのペン差しを付ける。
- (コ) 左ポケットの雨蓋を取り付ける際に、手帳止めループを挟み込んで付ける。

ク 前立て

- (ア) パネルフロント仕立てとし、芯（共地芯も可）を入れ、両端に 0.5 cmの飾りステッチをかける。
- (イ) 上前身頃にはボタン穴を 6 個あけ、下前身頃にはボタンを 6 個付ける。（女性用は右上前身頃とする。）
- (ウ) パネルの幅は、3.5 cm上がりとする。

ケ ヨーク

- (ア) 裏付きの 2 重仕立てとする。
- (イ) ヨークの幅は、背中央で 7.0 cm上がりとする。
- (ウ) ヨークで後ろ身頃を挟み、0.5 cmの飾りステッチで縫う。

コ 背ひだ

- (ア) 後ろ身頃中央に表箱ひだを付ける。
- (イ) ひだの幅は 3.5 cmとする。

サ 裾

- (ア) 幅 0.3 cmから 0.6 cmの三巻縫いとする。
- (イ) 左右脇には、くりを入れた馬乗り付きとする。

シ 階級章止め

- (ア) 右胸ポケット雨蓋から 1.0 cm上の位置に、階級章取付け用面テープ（B 面・表生地同系色）を縫い付ける。
- (イ) 寸法は、幅 2.5 cm・長さ 4.0 cmとする。

ス 刺繍

- (ア) 左胸上部に発注者の指示に従い下記文字を刺繍し、同色で個人氏名も刺繍する。
新発田地域広域消防

〇〇〇〇〇 (フルネーム)

セ 氏名札 (片布) 及びサイズ札

- (ア) 氏名札 (片布) は下前裾の裏側に横 5. 0 cm、縦 7. 0 cm の指定片布を付ける。
- (イ) サイズ札は襟腰下部に挟み込んで付ける。

(3) ズボン

ア 脇ポケット

- (ア) 斜めポケットを左右脇に各 1 個付ける。
- (イ) 口布は、表地を中心で 1. 0 cm 以上折り返し、0. 5 cm から 0. 7 cm の飾りステッチを入れ、向当布は脇縫い目から表地を中心で 5. 0 cm 以上とし、それぞれ袋地に縫い付ける。
- (ウ) 口布、向当布とも端の裁ち目はオーバーロックかがりとするか、耳使い又は折り返して処理をする。
- (エ) 口の下端はかんぬき止めをし、ポケット袋は地縫い返しして飾りステッチをかけ、上端は表、裏とも必ず 1. 0 cm 以上腰帯にかかるようにし、ポケット袋の縫い付けは可能な限り最後まで縫う。
- (オ) 右ポケットの袋内部に、幅 8. 0 cm、深さ 6. 0 cm と 1 1. 0 cm を目安にした斜め口の忍びポケットを縫い付ける。

イ 尻ポケット

- (ア) 片玉縁作りとし、左右に各 1 個付ける。(玉縁作りミシン使用可)
- (イ) ポケットは、腰帯下より 4. 0 cm・口幅 1 4. 0 cm・深さ約 1 8. 0 cm とする。
- (ウ) ポケット周囲は端ミシンをかけ、口の両端はかんぬき止めをする。
- (エ) 向当布は幅 3. 0 cm 以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりし、袋地に縫い付ける。
- (オ) 左のみ中央上部にボタン穴をかがり、向当布にボタンを縫い付ける。
- (カ) ポケット袋は、地縫い返しして飾りステッチをかける。
- (キ) ポケット袋の上端は、表裏とも必ず 1. 0 cm 以上腰帯にかかるようにする。

ウ タック

- (ア) タックは外向きに倒す。
- (イ) 前身頃センターに 1 本、その外側に 1 本のツータックとする。

エ 腰ダーツ

- (ア) 左右後ろ身頃の腰部にダーツ (尻癖) をとる。
- (イ) 左右各 2 本とする。

オ 天狗及び前立て

- (ア) 天狗は芯を入れ、裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりとする。
- (イ) 天狗の鼻は島で持ち出すか剣型の「チィ」を付け、先端にボタン穴をかがる。
- (ウ) 前立てには芯を入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁ち目は芯とともにオーバーロックかがりとする。
- (エ) 前立て飾りは、幅 3. 5 cm とする。
- (オ) 天狗、前立て上部に座金前かんを付ける。位置は、腰帯幅の中央にする。
- (カ) 前立てファスナー開き口下端に、天狗裏側から前立てとともに、かんぬき止めをする。

カ ファスナー付け

- (ア) 天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。

(イ) 前立て側は、前立て裏にファスナーの上端を二つ折りするか、腰帯の下に差し込み、耳は二条縫いで縫い付ける。

キ 脇縫い及び内股縫い

(ア) 地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。

(イ) 裁ち目は、オーバーロックかがりとする。

ク 尻縫い

(ア) 地縫い割りし、二重縫い又は環縫いミシンする。

(イ) 上部の縫い代は2.0cm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりとする。

(ウ) 棒シックは、またぐりにそって、ミシン縫いで表まで打ち抜く。(天狗からの続きシックも可)

ケ 腰裏

(ア) マーベルト、スレーキを使用し、前立側両端はそれぞれ天狗と前立ての前かんの下まで入れる。

(イ) 後部(尻縫い目)は縫い割りする。

(ウ) 左右脇縫い目の箇所、後ろ身頃の腰裏下に前身頃の腰裏が入るようにする。

(エ) 後ろ身頃の腰裏の下端は、脇縫いの箇所で、表生地に通して、かんぬき止めをする。

コ 膝裏

(ア) 前身頃上端より膝下まで、膝裏を付ける。

(イ) 両脇は、表生地とともにオーバーロックかがりとする。

(ウ) 裾は振らして、耳を使うか三巻縫いをする。

サ 腰帯(ウエストストレッチ仕立て)

(ア) 腰は3.5cmの腰帯付とし、脇縫いの箇所で、後ろ身頃の腰帯下に前身頃の腰帯が入るようにする。

(イ) 腰帯内部に後ろ身頃から前身頃及び前身頃から後ろ身頃にそれぞれ伸縮テープを通し、前身頃と後ろ身頃が互いに引き合い腰廻りの伸張が左右ともに各2.5cm以上、出来るようにする。マーベルトの裏から伸縮テープが見えないようにすること。

シ ベルト通し

(ア) ベルト通しは、前身頃センター・脇縫い部・後ろ身頃中程・尻縫いより1.0cm離れた箇所に付けた、8本付けとする。

(イ) ベルト通しは、折り返し・かがり部等が外れないように強固に作り、両端は端ミシン縫いし、幅0.8cmから1.0cm・使用部4.5cmとする。

(ウ) 取付位置は、ズボン上端より目安として1.0cm控え、上部は概ね0.5cm浮かして付ける。

(エ) ベルト通し付けは上・下部ともに強固に縫い付けること。

ス 裾

(ア) 裾フリータイプ以外のものは、折り返し幅3.0cm以上とし、裾上げをする。

(イ) 裁ち目は、オーバーロックかがりをするか、三つ折縫いをする。

セ 氏名札(片布)及びサイズ札

(ア) 氏名札(片布)は袋地に上衣と同様の指定片布を付ける。

(イ) サイズ札はベルト通しの下に挟み込んで付ける。

第2 その他

- 1 受注者は、原反生産者（紡績メーカー）の発行する『原反出荷引受証明書』及び指定生地を契約後7日以内に発注者に提出すること。
- 2 繊維製品品質表示規程（平成29年消費者庁告示第4号）に定める方法等により氏名札の下部に印刷又は小片札にて表示する。

別表（１）

材料名	区分		規格	試験方法	備考
表生地① 上衣 主生地	品番		日本毛織㈱E106番 色番SS-2番		
	品名		エコシヤンプレートロピカル		
	組織		1／1平織	JIS L1096	
	色相		淡青色（サックス色シンプレー） 色相（H）4．6B 明度（V）7．2 彩度（C）2．2 （標準色に対する色差△E0．8以内）		
	混紡率		ウール30％（±3） 再生ポリエステル69．5％（±3） 制電性繊維0．5％	JIS L1030	
	糸番手	経	2／72（±3）	JIS L1096	
		緯	167（±4）dtex		
	密度 （10cm間）	経	290（±15）本以上	JIS L1096	
		緯	250（±15）本以上		
	重量		130（±10）g／m ² 標準	JIS L1096	
	強度	経	600N以上	JIS L1096	
		緯	500N以上		
	寸法変化率	経	±1．5％以下	JIS L1096 C法	
		緯	±1．5％以下		
	ピリング		4級以上	JIS L1076 A法	
	染色堅牢度	耐光	4級以上	JIS L0842	
		洗濯	4級以上	JIS L0844	
		汗	酸 4級以上 アルカリ 4級以上	JIS L0848	
		摩擦	4級以上	JIS L0849 II型	
	その他加工		抗菌消臭加工		
表生地② ズボン・ 及び 上衣 配色生地	品番		日本毛織㈱EL169A番 色番 紺		
	品名		エコポーラ		
	組織		1／1平織	JIS L1096	
	色相		紺色 ブライトネイビー		
	混紡率		ウール30％（±3） 再生ポリエステル30％（±3） ポリエステル30％ 制電性繊維0．3％ グリーン購入法対応	JIS L1030	
	糸番手	経	2／1／52（±2）・110dtex（±4）	JIS L1096	
		緯	2／1／52（±2）・110dtex（±4）		
	密度 （10cm間）	経	57本（±5）	JIS L1096	
		緯	50本（±5）		
	重量		175g／m ²	JIS L1096	
	強力	経	780N以上	JIS L1096	
		緯	580N以上		
	寸法変化率	経	±1．5％以内	JIS L1096 C法	
		緯	±1．5％以内		
	ピリング		4－5級以上	JIS L1076 A法	
	染色堅牢度	耐光	4級以上	JIS L0842	
		洗濯	4級以上	JIS L0844	
		汗	酸 4級以上 アルカリ 4級以上	JIS L0848	
		摩擦	4級以上	JIS L0849 II型	
	摩擦帯電電荷量		7μC／m ² 以下		
	その他の加工		抗菌消臭加工		
膝裏	混紡率		ポリエステル100％		
	重量		40g／m ² 以上		
	収縮率	経	1％以下		
		緯	1％以下		
	堅牢度	汗	4級以上		

		洗濯	4級以上		
		摩擦	4級以上		
	色相		黒色		
袋地 (ズボンス レーキ)	組織		綾織り		
	色相		黒色		
	混紡率		ポリエステル60%以上 レーヨン20%以上		
	密度	経	310本以上		
		緯	250本以上		
	糸使い	経	30/1		
		緯	30/1		
マーベル ト滑り止 めテープ	混紡率		ポリエステル、ポリウレタン、繊維		
	番手	経	ポリエステル 220dtex		
		緯	ポリエステル 200dtex		
	滑り止め		ポリウレタン (オペロン)2464dtex		
芯地① 襟作り芯	ベース	組織	平織り		
		混紡率	ポリエステル65% 綿35%		
		番手	(経×緯) 23/2×23/2		
		密度	経48本以上 緯44本以上 (2.5cm間標準値)		
	補強	組織	平織り		
		混紡率	ポリエステル65% 綿35%		
		番手	(経×緯) 23/1×23/1		
		密度	経60本以上 緯55本以上 (2.5cm間標準値)		
	キーパー		セルロイド製		
芯地②	組織		平織り又は不織布		
	種類		ポリエステル混紡		
	使用箇所		カフス・雨蓋・前立・肩章		
ボタン	材質		尿素樹脂		
	経 mm		13mm 及び 15mm		
	使用箇所		13mm (表地同系色) 上衣：前ボタン・肩章・胸ポケット・袖口 15mm (表地同系色) ズボン：尻ポケット・天狗裏		
ファスナ ー	材質 (むし)		ナイロン製		
	サイズ		4号		
	色相		紺又は黒		
	規格		エフロン止め		
座金前かん	素材		真鍮製		
	色相		シルバー又はガンメタ		
	型		#247相当		
糸	地縫い		ポリエステル糸		
	飾り縫い糸		ポリエステル糸		
	穴かがり糸		ポリエステル糸		
面テープ	材質		ナイロン製		
	規格		B面		
	色相		表地同系色		
裏地	組織		平織り		
	材質		ポリエステル混紡		
	色相		紺又は黒		
袋地	組織		平織り又は綾織り		
	材質		ポリエステル混紡		
尾錠	素材		真鍮製		
	色相		シルバー又はガンメタ		
	型		三段式		

別表（２）

出来上がり寸法表

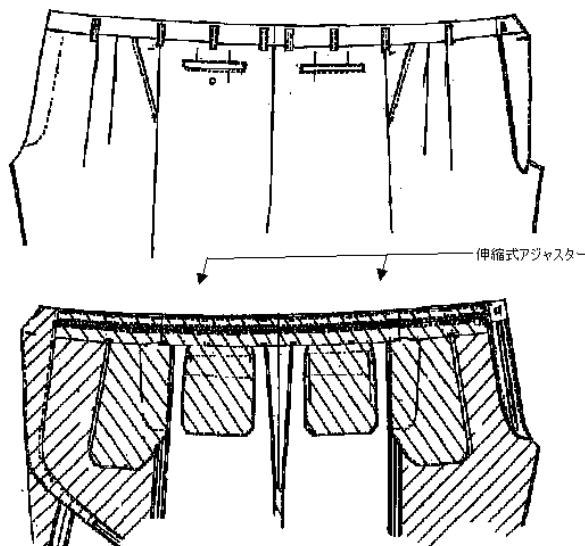
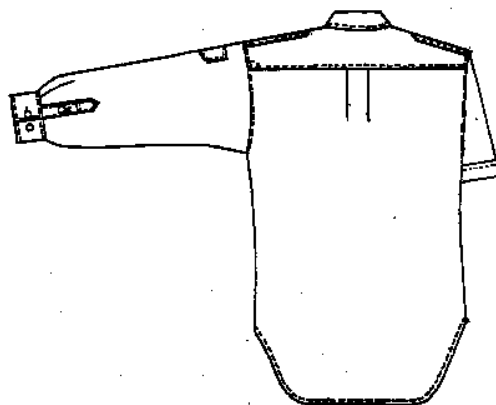
上衣 単位 cm

サイズ 表示	首廻	肩幅	胸囲	胴囲	後丈	カサ 丈	衿丈								半袖丈
							74	76	78	80	82	84	86	88	
35	35	42	94	84	76	24	○	○	○	○	○	○	○	○	25
36	36	43	98	88	78	24	○	○	○	○	○	○	○	○	25
37	37	44	102	92	78	25	○	○	○	○	○	○	○	○	25
38	38	45	106	96	80	25	○	○	○	○	○	○	○	○	25
39	39	46	110	100	80	26	○	○	○	○	○	○	○	○	25
40	40	47	114	104	82	26	○	○	○	○	○	○	○	○	25
41	41	48	118	108	82	27	○	○	○	○	○	○	○	○	25
42	42	48	120	112	82	27	○	○	○	○	○	○	○	○	25
43	43	50	122	116	82	28	○	○	○	○	○	○	○	○	25
44	44	50	124	120	82	28	○	○	○	○	○	○	○	○	26
45	45	51	127	125	85	29	○	○	○	○	○	○	○	○	26
46	46	51	130	130	85	29	○	○	○	○	○	○	○	○	26
47	47	52	135	135	85	30	○	○	○	○	○	○	○	○	26
48	48	52	135	135	85	30	○	○	○	○	○	○	○	○	26
許容 差	± 0. 5	± 0. 5	+ 2 - 1	+ 2 - 1	+ 2 - 1	± 0. 5	± 1	± 1	± 1	± 1	± 1	± 1	± 1	± 1	± 1

ズボン 単位 cm

サイズ表示	腰囲	股上(ベル下)	裾口	股下
2号	7 3	2 1. 5	2 3	7 4 cm 上がりを 基準に 偶数単位で 股下の調整 をする。
3号	7 6	2 2. 5	2 3	
4号	7 9	2 2. 5	2 4	
5号	8 2	2 2. 5	2 4	
6号	8 5	2 3. 5	2 4	
7号	8 8	2 3. 5	2 4	
8号	9 1	2 3. 5	2 5	
9号	9 5	2 4. 5	2 5	
10号	1 0 0	2 4. 5	2 5	
許容差	± 1. 0	± 1. 0	± 0. 5	± 1. 0

別図（上衣・ズボン）



エンブレム台座 形状・寸法

A 7.15cm

B 8.0cm

ABともに許容量±0.5mmとする。

活動服 特記仕様書

第1 概要

活動服は、消防職員が着用する被服であり、消防活動に適応する物であること。

第2 仕様

1 使用素材、材料

(1) 生地一般

ア 原糸においては、糸ムラ、織ムラ等の目立たない良質の生地を使用すること。

イ 織り上がりは均整で、織キズ汚れ等の無い生地でなければならない。

(2) 表生地 (A)

帝人 R90433 (指定色 PB7D)

メタ系芳香族ポリアミド 75%

パラ系芳香族ポリアミド 5%

再生ポリエステル 20%

(3) 表生地 (B)

帝人 CE5264 (指定色 OR)

メタ系芳香族ポリアミド 100%

使用箇所

上襟裏、台襟裏、胸ポケットフラップ裏、胸ポケットひだ、肩章、カフス裏
袖口水かき、背ヨーク、ズボン箱ポケットフラップ裏、ひだ部分

(4) 袋地

ポリエステル、レーヨン混紡スレーキーを使用する。

(5) 芯地、マーベルト

発注者が指定したものを使用する。

(6) その他

ア ボタン

尿素樹脂ボタン (径1.5cm) を上衣前中心の第一ボタン、肩章、ズボン尻ポケット、ズボン天狗止めに使用する。

イ ファスナー

YKK CNFOR-56C DA C/ #560 を上衣前合わせ、YKK CF
C-36 C/ #560 を袖口、ズボン前立てに使用する。

ウ 糸

地縫い、飾り縫い、穴かがりは芳香族ポリアミド #50 とする。

2 形状 (別紙参照)

(1) 上衣は、裾水平型、付け袖、前ファスナー、袖口ファスナー、胸左右ポケットフラップ付き拝みひだポケット、肩章、及び台襟付きとする。

(2) ズボンはツータック、左右腿ポケット、左右尻ポケットを付ける。

3 縫製

(1) 一般事項

- ア 各部の縫製は、縫い目の飛び、ハズレ、曲がりの無く優秀なこと。
- イ 縫い目は3.0cm間12針以上とする。
- ウ 表ミシンにてステッチ幅0.5cmとし、指定部分は端ミシンとする。
- エ ボタン穴は鳩目又は眠り穴かがりとする。
- オ 接着芯を使用する部分には、高压加熱芯貼りプレス機を使用し全面接着すること。

(2) 上衣

ア 襟

- (ア) 上襟の長さは8.0～9.0cmとし、幅は背の中心で約4.0cmで台襟にて上襟を挟み縫いし、周囲にステッチをかける。
- (イ) 台襟裏中央に襟吊を挟み縫いする。

イ 袖及びカフス

- (ア) 袖は2枚袖とし、上袖は地縫をして片倒し一条縫いをし、下袖は身頃から脇縫いする。
- (イ) 上袖縫い目は袖口から約16.0cmまでファスナーを表から一条ミシンで縫い、開き止まりから、カフス付け根まで水かき布を付ける。
- (ウ) 袖口からカフスまで約6.0cm幅にし、芯を入れて地縫い返しし、一条ミシンをかけ外側に深さ約1.5cmのひだを2本取り、袖開きの方向へ倒す。
- (エ) 袖付けは、身頃のくりを伸ばさないようにインターロックミシン縫いとする。

ウ 脇縫い

インターロックミシン縫いとする。

エ 胸ポケット（別紙「上衣前面」参照）

- (ア) 幅が13.5cm、中央部分が約5.0cmのフラップを付き、拌みひだアウトポケット飾りミシンにて2個付ける。
- (イ) 左フラップの外側に約4.0cm幅のペン刺し穴を付け、2箇所面に面テープのA面（横約2.5cm、縦2.0cm）を指定箇所に付ける。
- (ウ) 口幅は、約13.0cm、深さ14.5cmとし、内側に折り返し、端は押え縫いしオーバーロックをかけ上部にB面面テープ（横約2.5cm、縦2.0cm）を2箇所、フラップと合う様に周囲に飾りミシンをかけ縫い付ける。

オ 前合わせ（別紙「前合わせ部分」参照）

- (ア) 前合わせは、男性用は右前、女性用は左前とし、開閉は指定面テープ（横約2.5cm、縦2.0cm）及びファスナーを縫い付ける。
- (イ) 上前身頃は、前端より約4.0cm奥に二条ミシンで縫い付け面テープを見返し挟み縫いする。
- (ウ) 下前身頃は、面テープを身頃とし、見返しに挟み、地縫いし一条飾り縫いとする。

カ 肩章

- (ア) 幅を約3.8cmとし、長さは本体に合わせた長さにする。
- (イ) 周囲は、地縫い返しし、飾りミシンをかけ先端部分にボタンホールを開け、袖付

けに挟み縫いする。

(ウ) 袖付け部分はクロスに飾りステッチをかける。

キ ヨーク

(ア) 前ヨークは、前身頃を地縫い返しし、一条飾りミシンをかける。

(イ) 後ヨークは、V型（別紙「上衣後面」参照）で後ろ身頃と地返しし、一条の飾りミシンをかける。

(ウ) 指定の書体（別紙「バックプリント」参照）、文字、カラー、サイズを指定箇所に表示する。

ク 刺繍

左胸上部に指定（別紙「左胸刺繍」参照）の書体、文字、カラー、サイズで刺繍し、同色で個人名を刺繍する。

ケ 階級章受け

(ア) 右ポケット、フラップ上部から約2.0cm上に、面テープのB面（横約4.0cm、縦約2.5cm）を縫い付ける。

(イ) プリスト製の階級章を使用する。

コ 裾

三つ折りの水平型とする。

サ 氏名札（片布）及びサイズ札

横5.0cm、縦7.0cmの指定片布を左胸ポケット裏に縫い付ける。サイズ札は台襟中央の下部に縫い付ける。

シ 左腕ペン差し（別紙「左腕ペン差し」参照）

横3.0cmと2.0cmに仕切り、縦約13.0cmとする。

(3) ズボン

ア 尻ポケット（別紙「ズボン後面」参照）

(ア) 左右に各1個で口幅約14.0cm、片玉縁の切ポケットとし、両端はかんぬき止めで左ポケットにはピスボタンを付ける。

(イ) 向当布は幅を約4.0cm以上とし、かがりはオーバーロックミシンとし、袋地に縫い付ける。

イ 腿ポケット（別紙「左右腿ポケット」参照）

(ア) 最上部より約21.0cmの位置から取り付ける。

(イ) フラップは横約19.0cm、縦約8.0cm、両端約5.0cmとし下部サイドには丸みを付ける。

(ウ) フラップの裏側には生地（B）を配し中央部に面テープのA面（横約5.0cm、縦約2.5cm）を付ける。

(エ) 箱部分は、横約18.0cm、縦約19.0cmとし、下部及び後部に4.0cmのマチを入れ生地（B）を配し、周囲にステッチをかける。

(オ) 箱中央部に幅約5.0cmのヒダを縫いつけ上部に面テープのA面の生地（B）を付ける。

ウ タック及び腰ダーツ（別紙「ズボン前面」参照）

タックは外向き深さ約1.0cmを左右2本ずつ付ける。

エ 天狗及び前立て（別紙「天狗部分」参照）

(ア) 天狗は、裏表を地縫い返しし奥の裁ち目は芯と共にオーバーロックかがりとす

る。

(イ) 前立ては上部に前かんを付け、幅を約 3.5 cm とし芯を入れ裏表を地縫い返しし、オーバーロックかがりとする。

(ウ) 小股は約 4.0 ～ 5.0 cm のかんぬき止めとする。

オ ファスナー付け

(ア) 天狗側は身頃端を折り天狗との間に挟み縫いする。

(イ) 前立て側は、前立て裏にファスナーの上端を二つ折りし、二条縫いで縫い付ける。

カ 脇縫い及び内股縫い

脇縫いは片倒し、オーバーロックかがりをかけ棒シックを縫い付ける。

キ 腰裏及び腰帯

(ア) 滑り止め付マーベルトを使用し両端はそれぞれ天狗と前かんの下まで入れる。

後部（尻縫い）は割り縫いする。

(イ) 4.0 cm の腰帯は身頃と地縫い片倒しし、マーベルトと共に飾ミシンをかけ前立てより天狗ファスナー付けまで入れる。

ク ベルト通し

幅約 2.5 cm、縦約 5.0 cm を上端より 1.0 cm 下がりて後部に 2 本のほか 6 本を付ける。

ケ 裾

折り返し幅は 4.0 cm 以上とし、ルイスミシンをかける。

コ 氏名札（片布）及びサイズ札

(ア) 氏名札（片布）は袋地に上衣と同様の指定片布を付ける。

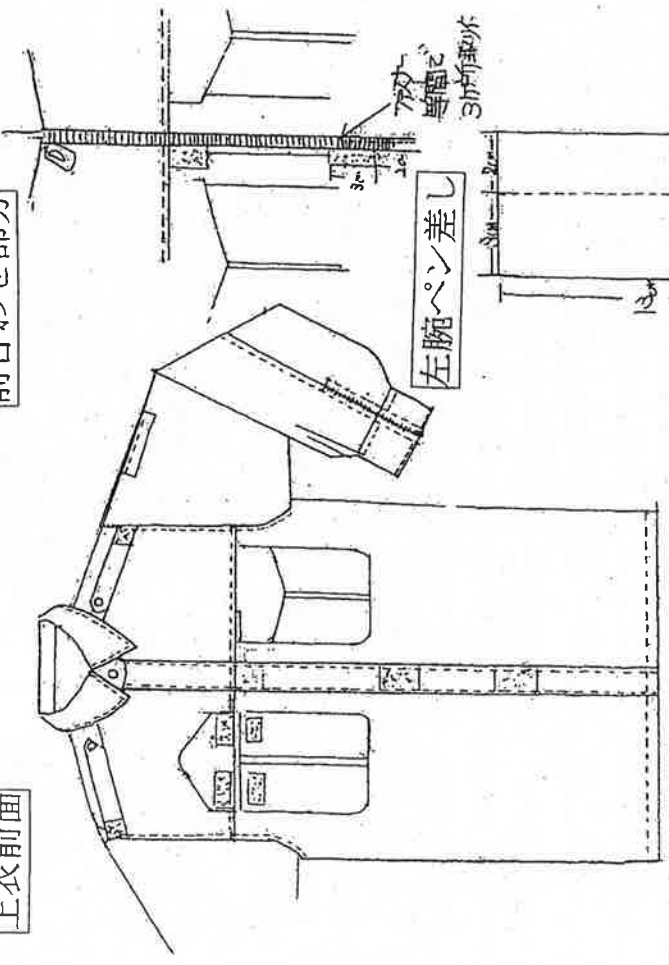
(イ) サイズ札はベルト通し下に挟み込んで付ける。

第3 その他

- 1 受注者は、原反生産者（紡績メーカー）の発行する『原反出荷引受証明書』及び指定生地を契約後 7 日以内に発注者に提出すること。
- 2 繊維製品品質表示規程（平成 29 年消費者庁告示第 4 号）に定める方法等により氏名札の下部に印刷又は小片札にて表示する。

前合わせ部分

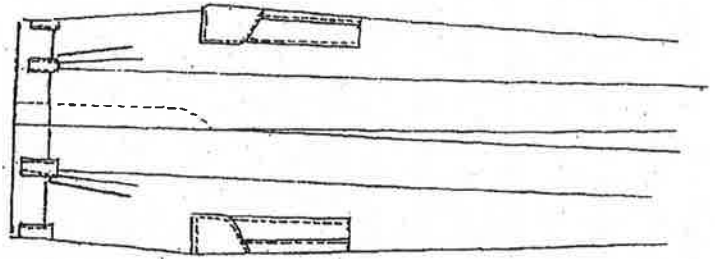
上衣前面



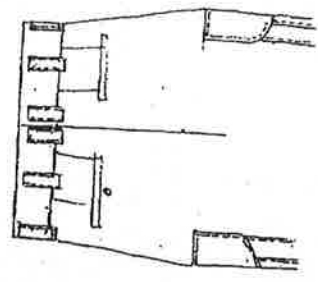
上衣後面



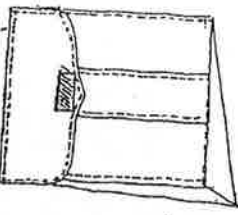
ズボン前面



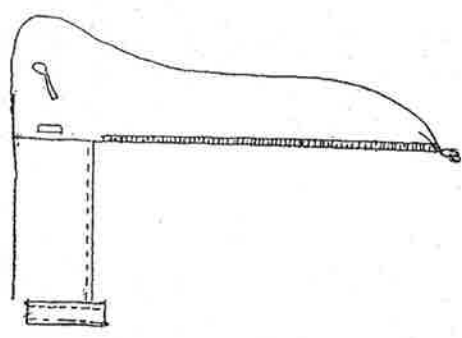
ズボン後面



左右腿ポケット



天狗部分



左胸刺繍

新発田地域広域消防

原寸 (バール12-1507色)

個人名 (バール12-1507色)

〇〇〇〇

(フルネーム)

バックプリント

背中ヨーク部 シルクプリント
縦 13 cm 横 33 cm

新潟県 新発田広域消防

SHIBATA FIRE DEPARTMENT

夏活動服 特記仕様書

第1 概要

活動服は、消防職員が着用する被服であり、消防活動に適応する物であること。

第2 仕様

1 使用素材、材料

(1) 生地一般

ア 原糸においては、糸ムラ、織ムラ等の目立たない良質の生地を使用すること。

イ 織り上がりは均整で、織キズ汚れ等の無い生地でなければならない。

(2) 表生地 (A)

帝人 R99133 (指定色 PB7D)

メタ系芳香族ポリアミド 75%

パラ系芳香族ポリアミド 5%

再生ポリエステル 20%

(3) 表生地 (B)

帝人 CE5264 (指定色 OR)

メタ系芳香族ポリアミド 100%

使用箇所

上襟裏、台襟裏、胸ポケットフラップ裏、胸ポケットひだ、肩章、カフス裏
袖口水かき、背ヨーク、ズボン箱ポケットフラップ裏、ひだ部分

(4) 袋地

ポリエステル、レーヨン混紡スレーキーを使用する。

(5) 芯地、マーベルト

発注者が指定したものを使用する。

(6) その他

ア ボタン

尿素樹脂ボタン (径1.5cm) を上衣前中心の第一ボタン、肩章、ズボン尻ポケット、ズボン天狗留めに使用する。

イ ファスナー

YKK CNFOR-56C DA C/ #560 を上衣前合わせ、YKK CFC-36 C/ #560 を袖口、ズボン前立てに使用する。

ウ 糸

地縫い、飾り縫い、穴かがりは芳香族ポリアミド #50 とする。

2 形状 (別紙参照)

(1) 上衣は、裾水平型、付け袖、前ファスナー、袖口ファスナー、胸左右ポケット

フラップ付き拝みひだポケット、肩章、及び台襟付きとする。(女性用は右前身頃とし、

その他は男性と同様とする。)

(2) ズボンはツータック、左右腿ポケット、左右尻ポケット。

3 縫製

(1) 一般事項

- ア 各部の縫製は、縫い目の飛び、ハズレ、曲がり等が無く優秀なこと。
- イ 縫い目は3.0cm間12針以上
- ウ 表ミシンにてステッチ幅0.5cmとし、指定部分は端ミシンとする。
- エ ボタン穴は鳩目又は眠り穴かがりとする。
- オ 接着芯を使用する部分には、高圧加熱芯貼りプレス機を使用し全面接着すること。

(2) 上衣

ア 襟

- (ア) 上襟の長さは8.0cmから9.0cmとし、幅は背の中心で約4.0cmで台襟にて上襟を挟み縫いし、周囲にステッチをかける。
- (イ) 台襟裏中央に襟吊を挟み縫いする。

イ 袖及びカフス

- (ア) 袖は2枚袖とし、上袖縫いは地縫い片倒しし、一条縫い、下袖は身頃から脇縫いする。
- (イ) 上袖縫い目は袖口から約16.0cmまでファスナーを表から一条ミシンで縫い、開き止まりから、カフス付け根まで水かき布を付ける。
- (ウ) 袖口からカフスまで約6.0cm幅にし、芯を入れて地縫い返しし、一条ミシンをかけ外側に深さ約1.5cmのひだを2本取り、袖開きの方向へ倒す。
- (エ) 袖付けは、身頃のくりを伸ばさないようにインターロックミシン縫いとする。

ウ 脇縫い

インターロックミシン縫いとする。

エ 胸ポケット (別紙「上衣前面」参照)

- (ア) 幅が13.5cm、中央部分が約5.0cmのフラップを付き、拌みひだアウトポケット飾りミシンで2個付ける。
- (イ) 左フラップの外側に約4.0cm幅のペン刺し穴を付け、2箇所A面の面テープ(横約2.5cm、縦2.0cm)を指定箇所に付ける。
- (ウ) 口幅は、約13.0cm、深さ14.5cmとし、内側へ折り返し、端は押え縫いしオーバーロックをかけ上部にB面の面テープ(横約2.5cm、縦2.0cm)を2箇所、フラップと合う様に周囲に飾りミシンをかけ縫い付ける。

オ 前合わせ (別紙「前合わせ部分」参照)

- (ア) 前合わせは、男性用は右前、女性用は左前とし、開閉は指定面テープ(横約2.5cm、縦2.0cm)及びファスナーを縫い付ける。
- (イ) 上前身頃は、前端より約4.0cm奥に二条ミシンで縫い付け面テープを見返し挟み縫いする。
- (ウ) 下前身頃は、面テープを身頃とし、見返しに挟み、地縫いし一条飾り縫いとする。

カ 肩章

- (ア) 幅を約3.8cmとし、長さは本体に合わせた長さにする。
- (イ) 周囲は、地縫い返しし、飾りミシンをかけ先端部分にボタンホールを開け、袖付けに

挟み縫いする。

(ウ) 袖付け部分はクロスに飾りステッチをかける。

キ ヨーク

(ア) 前ヨークは、前身頃を地縫い返しし、一条飾りミシンをかける。

(イ) 後ヨークは、V型（別紙「上衣後面」参照）で後身頃と地返しし、一条の飾りミシンをかける。

(ウ) 指定の書体（別紙「バックプリント」参照）、文字、カラー、サイズを指定箇所に表示する。

ク 刺繍

左胸上部に指定（別紙「左胸刺繍」参照）の書体、文字、カラー、サイズで刺繍し、同色で個人名を刺繍する。

ケ 階級章受け

(ア) 右ポケットフラップ上部から約2.0cm上に、面テープのB面（長さ約4.0cm、幅約2.5cm）を縫い付ける。

(イ) プリスト製の階級章を使用する。

コ 裾

三つ折りの水平型とする。

サ 氏名札（片布）及びサイズ札

横5.0cm、縦7.0cmの指定片布を左胸ポケット裏に縫い付ける。サイズ札は台襟中央の下部に縫い付ける。

シ 左腕ペン差し（別紙「左腕ペン差し」参照）

横3.0cmと2.0cmに仕切り、縦約13.0cmとする。

(3) ズボン

ア 尻ポケット（別紙「ズボン後面」参照）

(ア) 左右に各1個で口幅約14.0cm、片玉縁の切ポケットとし、両端はかんぬき止めで左ポケットにはピスボタンを付ける。

(イ) 向当布は幅を約4.0cm以上とし、かがりはオーバーロックミシンとし、袋地に縫い付ける。

イ 腿ポケット（別紙「左右腿ポケット」参照）

(ア) 最上部より約21.0cmの位置から取り付ける。

(イ) フラップは横約19.0cm、縦約8.0cm、両端約5.0cmとし下部サイドには丸みを付ける。

(ウ) フラップの裏側には生地（B）を配し中央部に面テープのA面（横約5.0cm、縦約2.5cm）を付ける。

(エ) 箱部分は、横約18.0cm、縦約19.0cmとし、下部及び後部に4.0cmのマチを入れ生地（B）を配し、周囲にステッチをかける。

(オ) 箱中央部に幅約5.0cmのひだを縫い付け上部にA面の面テープに生地（B）を付ける。

ウ タック及び腰ダーツ（別紙「ズボン前面」参照）

タックは外向き深さ約1.0cmを左右2本ずつ付ける。

エ 天狗及び前立て（別紙「天狗部分」参照）

- (ア) 天狗は、裏表を地縫い返しし奥の裁ち目は芯と共にオーバーロックかがりとする。
- (イ) 前立ては上部に前かんを付け、幅を約 3.5 cm とし芯を入れ裏表を地縫い返しし、オーバーロックかがりとする。
- (ウ) 小股は約 4.0 cm から 5.0 cm のかんぬき止めとする。

オ ファスナー付け

- (ア) 天狗側は身頃端を折り天狗との間に挟み縫いする。
- (イ) 前立て側は、前立て裏にファスナーの上端を二つ折りし、二条縫いで縫い付ける。

カ 脇縫い及び内股縫い

脇縫いは片倒し、オーバーロックかがりをかけ棒シックを縫い付ける。

キ 腰裏及び腰帯

- (ア) 滑り止め付マーベルトを使用し両端はそれぞれ天狗と前かんの下まで入れる。
後部（尻縫い）は割り縫いする。
- (イ) 4.0 cm の腰帯は身頃と地縫い片倒しし、マーベルトと共に飾ミシンをかけ前立てより天狗ファスナー付けまで入れる。

ク ベルト通し

幅約 2.5 cm、縦約 5.0 cm を上端より 1.0 cm 下がりて後部に 2 本その他 6 本を付ける。

ケ 裾

折り返し幅は 4.0 cm 以上とし、ルイスマシンをかける。

コ 氏名札（片布）及びサイズ札

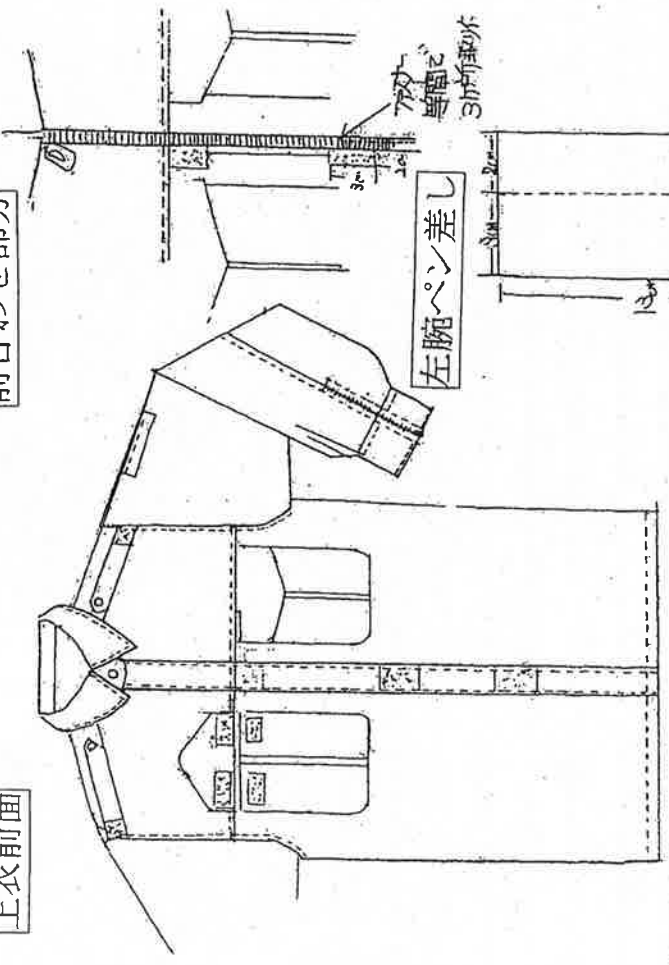
- (ア) 氏名札（片布）は袋地に上衣と同様の指定片布を付ける。
- (イ) サイズ札はベルト通し下に挟み込んで付ける。

第 3 その他

- 1 受注者は、原反生産者（紡績メーカー）の発行する『原反出荷引受証明書』及び指定生地を契約後 7 日以内に発注者に提出すること。
- 2 繊維製品品質表示規程（平成 29 年消費者庁告示第 4 号）に定める方法等により氏名札の下部に印刷又は小片札にて表示する。

前合わせ部分

上衣前面

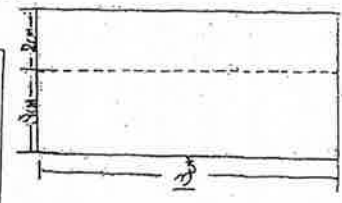


上衣後面

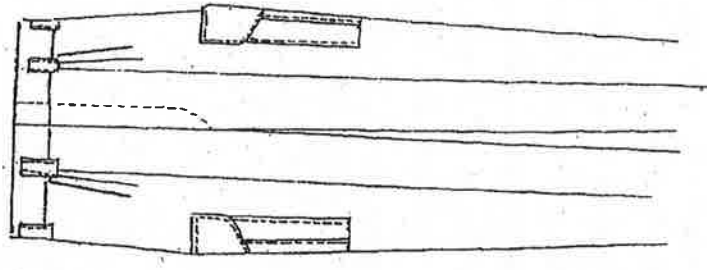


新潟県
新発田広域消防
SHIBATA FIRE DEPARTMENT

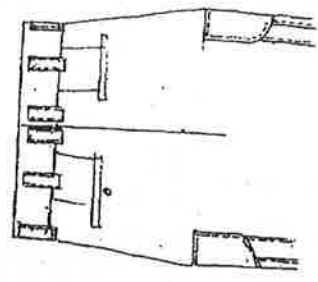
左腕ペン差し



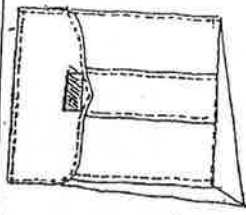
ズボン前面



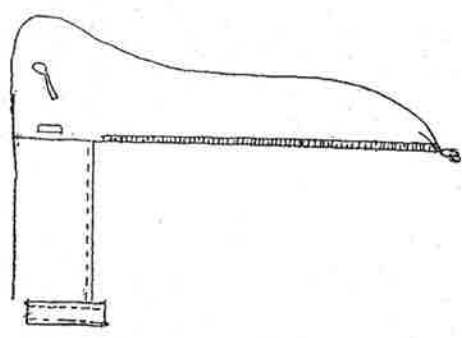
ズボン後面



左右腿ポケット



天狗部分

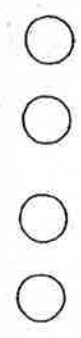


左胸刺繍

新発田地域広域消防

原寸 (バール12-1507色)

個人名 (バール12-1507色)



(フルネーム)

バックプリント

背中ヨーク部 シルクプリント
縦 13 cm 横 33 cm

新潟県 新発田広域消防

SHIBATA FIRE DEPARTMENT

救助服仕様書

新発田地域広域事務組合消防本部

1 総則

(1) 趣旨

この仕様書は、新発田地域広域事務組合消防本部（以下当本部）において使用する消防職員用救助服について、必要な事項を定めることを目的とする。

(2) 概要

救助服は消防職員が着用する被服であり、その活動に適するものであること。

(3) 条件

この救助服に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書のすべてを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

(4) 提出品

落札者は、指定した記事について、原反生産者（紡績メーカー）の発行する「原反引受証明書」及び指定生地サンプルを、契約締結した日から10日以内に、消防本部総務課に提出すること。

(5) 品質管理

受注者は、納入前に自主検査を行うとともに、製作工程上の品質管理の適正を図ること。

(6) その他

数量については、統括表のとおり。

なおサイズ別数量については、決定後通知する。

2 仕様

(1) 材料及び規格

ア 表生地

帝人株式会社 コーネックス サージ C 2 9 4 5 6 (当局指定色)

イ 名札用生地

帝人株式会社 コーネックス サージ C 2 9 4 5 6 (当局指定色)

ウ 縫糸

帝人株式会社 コーネックス # 5 0

エ 袋地

ポリエステル、レーヨン混紡スレーキとする。

オ ボタン

樹脂ボタン 径約 1 5 mm

カ しん地、マーベルト

しん地、マーベルトは当局の承認を得たものとする。

キ ボタン付け

手付の場合は二本糸にて一つの穴に二回以上通し、根巻き五回以上、コの字地

ク ファスナー

上衣前合せ、左右胸ポケット（シリコン製つまみ使用、左右袖口、ズボン左右ポケット（シリコン製つまみ使用）前立てに使用する。

ケ 裁断

逆毛裁ち、斜め裁ち及びハギは認めない。

コ 生地仕上がり

原糸は糸ムラ、番手ムラ、撚りムラ等の目立たない良質なものを使用し、織り上がりは均正で、織キズ、糸節、汚れ等の欠点のないものであること。

3 形状

(1) 上衣

スタンドカラー、前、後、脇身頃、袖山付 3 枚袖。背脇部ノーフォーク、ラグラン袖、肩当て付、前立てから衿先までのファスナー開き、袖口ファスナー開き、左右ファスナー付玉縁胸ポケット、バックプリント入りとする。

(2) ズボン

長ズボン（膝部、曲線加工）、前後身上部及び膝部当て布付、裾シングル、両脇張り付けポケット、前開きファスナー仕立て、ベルト通し 5 本とし、裾口には平ゴムを付ける。

(3) 刺しサイズ

針数・サイズは別図参照とする。

4 縫製

(1) 上衣

ア 衿

- (ア) 衿芯を入れ衿幅約 9 cm、後中心約 10 cmとする。
- (イ) 衿裏は山刺し 12 本以上、腰刺し 5 本以上とする。
- (ウ) 衿中央に衿つりを縫い付ける。
- (エ) 衿中央にサイズ表示を挟み縫いする。
- (オ) 台衿は山型にして、表裏共に挟み縫いする。

イ 袖及びカフス

- (ア) 袖は、ラグラン仕立ての袖山付 3 枚袖とし、肩部と肘部に当てを付け、ダイヤ型の刺し縫いを施す。肘当てには、ダーツを二本入れる。
- (イ) 袖口開きの開口部には水かきを付け、両玉縁ファスナー止めとし、左袖には型ヨーク下から救助隊用エンブレム (別図) を付ける為のオレンジ色 B 面ファスナーテープを縫い付ける。

ウ 袖付け・ループ

- (ア) 衿部分から袖口にかけての曲線縫いとし、下袖の縫い部分から脇縫い部分にかけ一枚布で曲線を合わせ前後の身頃に縫い合わせる。
- (イ) 脇身頃の脇下部に船型の穴約 4.5 cmを開け、内側へ折り返し縫い止める。周囲に飾りミシンをかけ、裁ち目はオーバーロックかがりとし、口の両端はミシン止めをする。
- (ウ) 左肩ヨーク中央に幅約 1 cm長さの 5 cmのループを付ける。

エ 脇縫い

インターロックミシン縫いとし、片倒しとする。

オ 胸ポケット・ネーム台座・階級章台座・マイクフック

- (ア) 左右前身頃にファスナー止めインポケット付きとする。
- (イ) ポケット口は、両玉縁とし 12 cmの外締めファスナー付とする。
- (ウ) ポケットサイズは縦約 18 cm横約 13 cmとする。
- (エ) ポケットは、端飾りミシンで縫い付ける。
- (オ) 口布は、内側へ折り返して、端は押さえ縫いし、裁ち目はオーバーロックかがりとする。
- (カ) 左胸ポケット上部に (暫定型であり、後日決定すること) オレンジ色 B 面ファスナーテープを縫い付け、2 cm上部に幅約 1 cm長さ約 4 cmのマイクフックループを付ける。

(キ) 右胸には消防職員用の階級章用のオレンジ色 B 面ファスナーテープを縫い付ける。

カ 前合せ

前合せの開閉は、剣先までのオープンファスナーとし、ファスナー下部の両側に切れ込みを入れ、ファスナー操作が容易に出来るようにすること。

キ 前身頃

(ア) 前身頃衿付け下部より指定位置まで共生地を使用した二重とし、ダイヤ型の刺し縫いを施すこと。

ク 後身頃

(ア) 背の両側にノーフォークを付け、背ヨーク部分は緩やかな最長部約 3 2 cm の V ライン (別図参照・サイズにより異なる) とする。

(イ) 背ヨーク部分は、ノーフォーク部を含めて共生地を使用して二重とし、ダイヤ型の刺し縫いを施すこと。(別図参照)

ケ 標識・エンブレム台座

(ア) 背部に衿台座の 1 2 cm 下から指定の書体・文字 (後日決定) をシルクスクリーン印刷プリントする。

(イ) 肩山から 8 cm 下がりに (後日決定) サイズで B 面ファスナーテープを付ける。

コ 消防名、個人名札

(ア) 消防名は共生地を使用し指定内容を黒色で刺繍する。(別図参照)

(イ) 個人名札は共生地を使用し、各個人の姓を黒色で刺繍し、裏面に A 面ファスナーテープを縫い付ける。

サ 裾

三つ折りの平裾とし、端縫いをする。

シ 片布及び表示札

横約 7.5 cm×縦約 6 cm の当局指定片布、生地織ネーム、品質表示を左胸ポケット裏に縫い付ける。

ス ペン差しポケット

本体生地で左右の身返しに縦 2.5 cm 横 4 cm のループと縦 7 cm 横 4 cm のポケットを 1 組で付ける。

ズボン

ア 脇ポケット

左右脇の上部から約 2 2 cm 下から、縦約 2 5 cm・横約 2 3 cm で緩やかな曲線で左右側面に、ファスナー口は約 1 7 cm で前部から後部にかけて下がるように付け、後ろ締めとする。(別図参照)

イ 腰裏

マーベルト付とし、滑り止め部は二段とする。

ウ 前立て

芯を貼り、ファスナーを付け、天狗持ち出しボタン止めとし、前立てはぶち抜きボタン止めとする。

エ ベルトループ

縦約 7 cm（有効部約 6 cm）横約 8.5 cm、後部を除き左右各二本とし、後部一本は縦約 7 cm（有効部分約 6 cm）横約 10 cm 斜め下部約 5.5 cm の五角形とする。取付位置は、ズボン上端からの縫い付けとする。ループ作り、はさみ包み縫いとし、上部は浮かせて取付け、下部はダブルステッチで押さえ、両端に門を入れる。右前ループへはサイズ表示を挟み縫いする。（別図参照）

オ 脇縫い及び内股縫い及びマチ

（ア）脇縫いは、地縫い片倒し飾りミシン縫い、またはインターロックミシン縫いとし、前後身頃の切替し部分に、幅約 6 cm の共生地を、両脇ダブルステッチにて押さえ縫いとする。

（イ）内股縫いは、二重縫いまたは環縫いとし、オーバーロックかがりとする。

（ウ）左右腿の外側には幅 6 cm のマチを腰上部から裾口まで入れる。

カ 尻縫い

地縫い片倒し飾りミシン縫い、またはインターロックミシン縫いとする。

キ シック

共生地またはスレーキを使用し、身頃に縫い付ける。

ク 裾

折り込み 2 cm 以上の三つ巻きミシンかけとし、裾口に幅約 3 cm 長さ約 20 cm の白平ゴムテープを付ける。

ケ 当布（刺し縫い付別図参照）

前後身頃の各上部指定箇所（サイズにより当布面積は異なる）及び前身頃のプリーツを入れた曲線加工の膝部分に、共生地を用い二重にし、ダイヤ型の刺し縫いを施す。

コ 片布及び表示札

横約 7.5 cm × 縦約 6 cm の当局指定片布、生地織ネーム、品質表示付を左脇ポケット裏に縫い付ける。

5 納品

(1) 梱包

プレス後、適切な方法でたたみ、一枚ずつビニール袋に収納し、氏名・所属・サイズを表示した紙片を表から見えるように入れる。袋の口はセロハンテープ等で止める。

【サイズ表】

(上 衣)

	胸	衿丈	着丈
AS	100	76	76
AM	106	79	78
AL	111	82	78
ALL	116	85	80
A3L	121	89	84
A4L	126	89	84

	胸	衿丈	着丈
BL	118	84	78
BLL	124	84	78
B3L	127	84	78
B4L	132	84	80

(ズ ボ ン)

	ウエスト	ヒップ	股上
S	73	94	24
M	76	97	25
L	79	101	26
LL	82	104	27
3L	85	106	28
4L	88	108	28

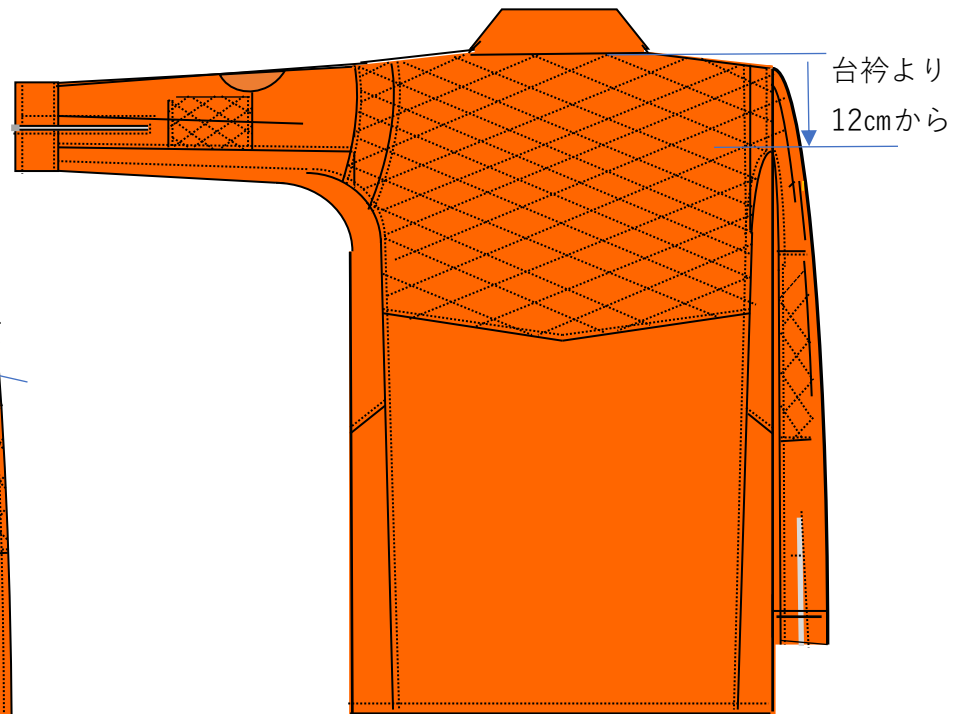
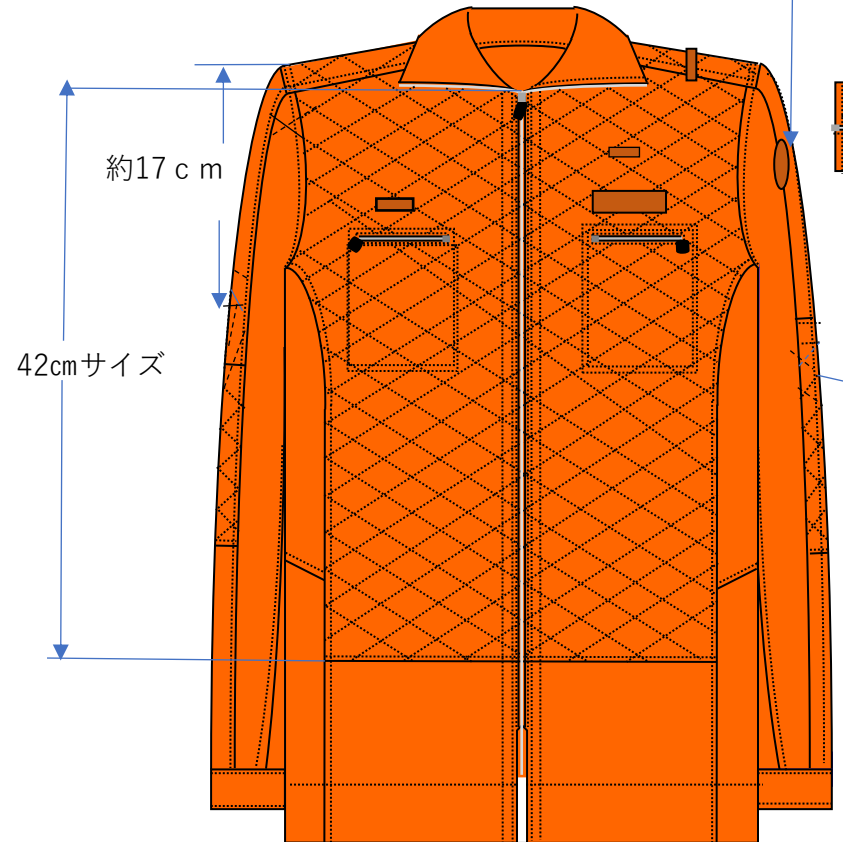
	ウエスト	ヒップ	股上
5L	91	112	29
6L	94	115	29
7L	97	118	30
8L	100	120	30
特1	105	126	31
特2	110	129	31

※股下は基準74cm

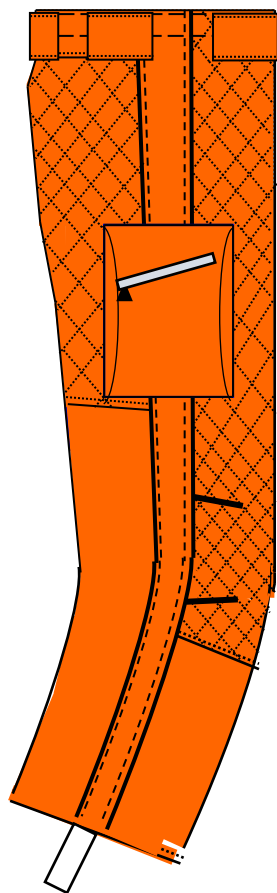
前 図 (AL)

肩山から8cm下がる。

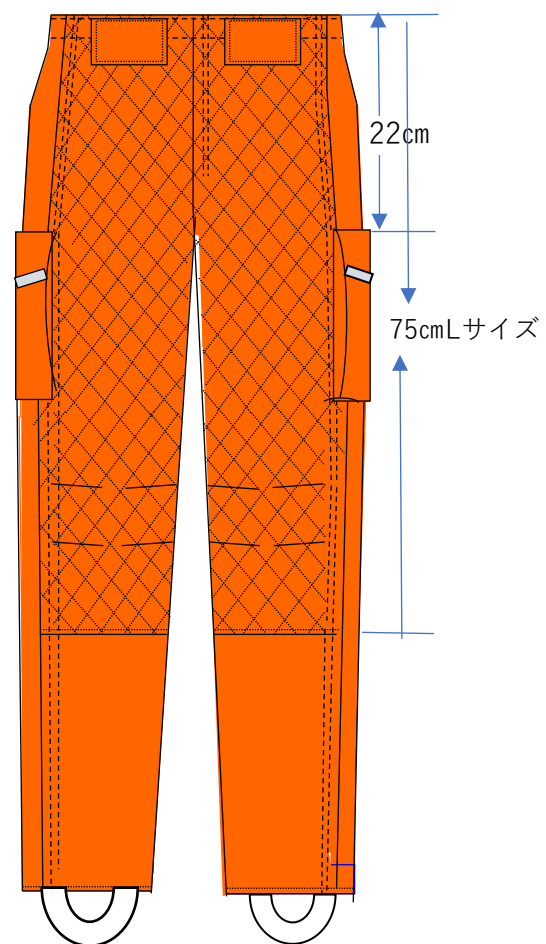
後 図



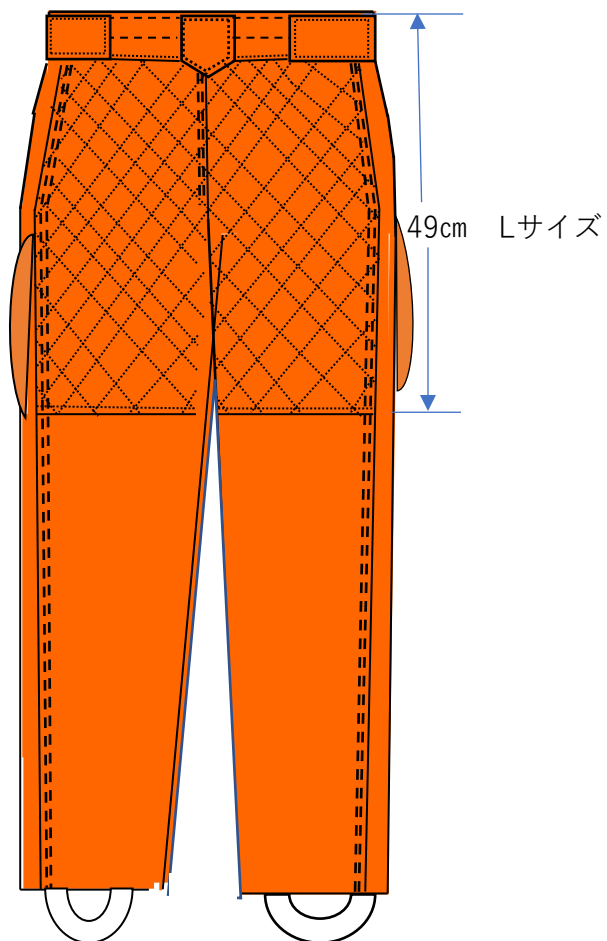
横図



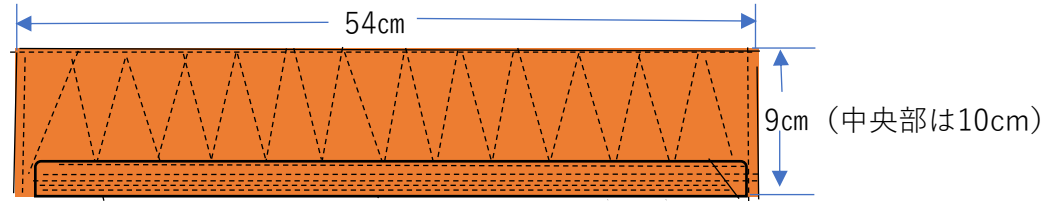
前図 (L)



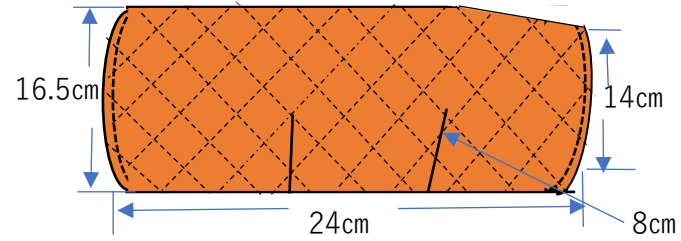
後図



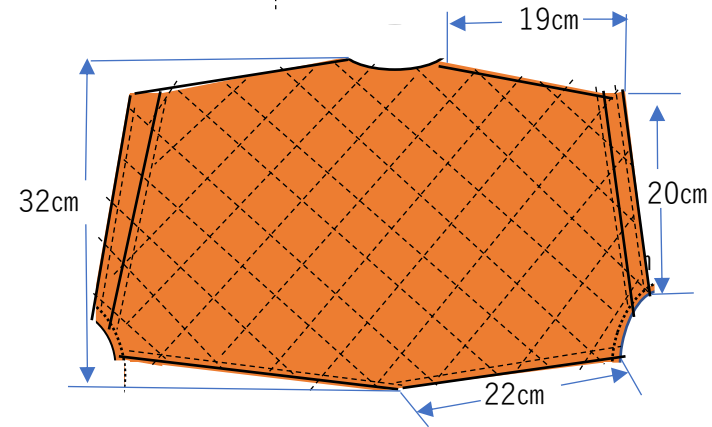
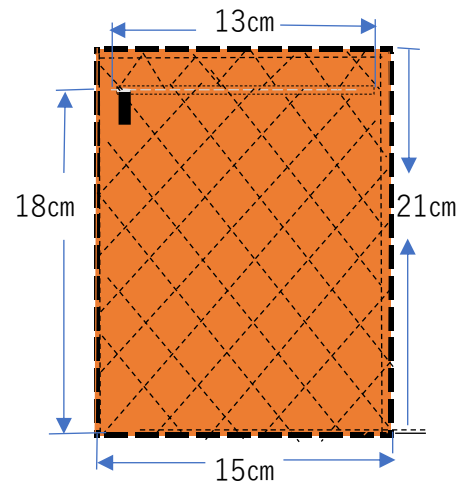
衿裏山刺し



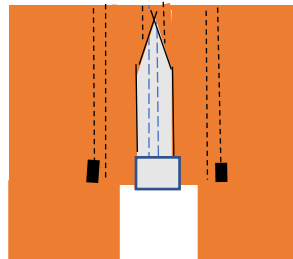
右袖肘あて (Lサイズ)



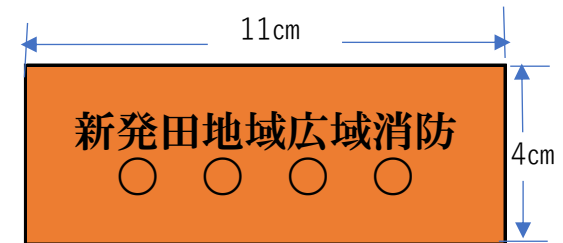
胸ポケット (左胸)



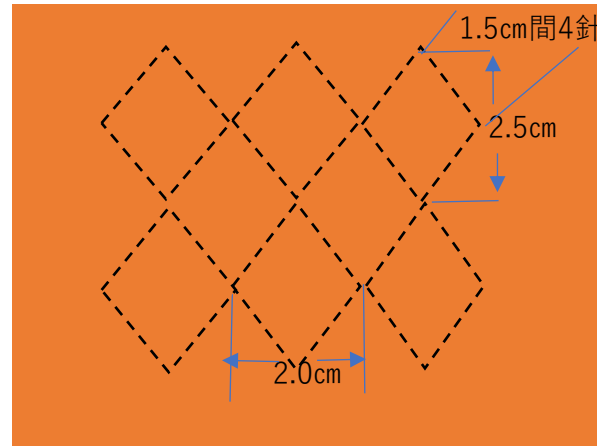
上衣前ファスナー口



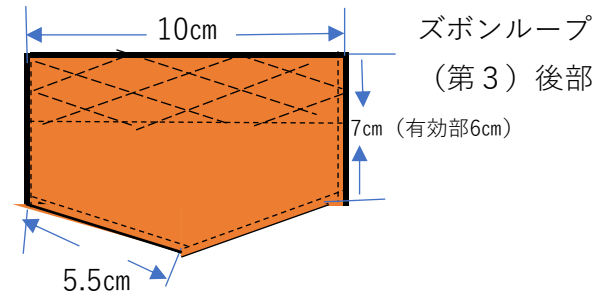
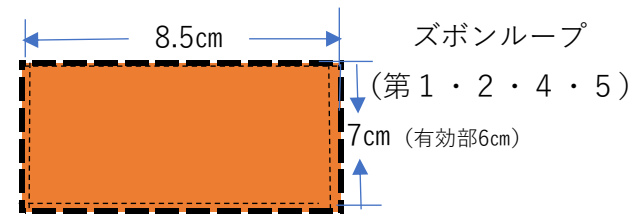
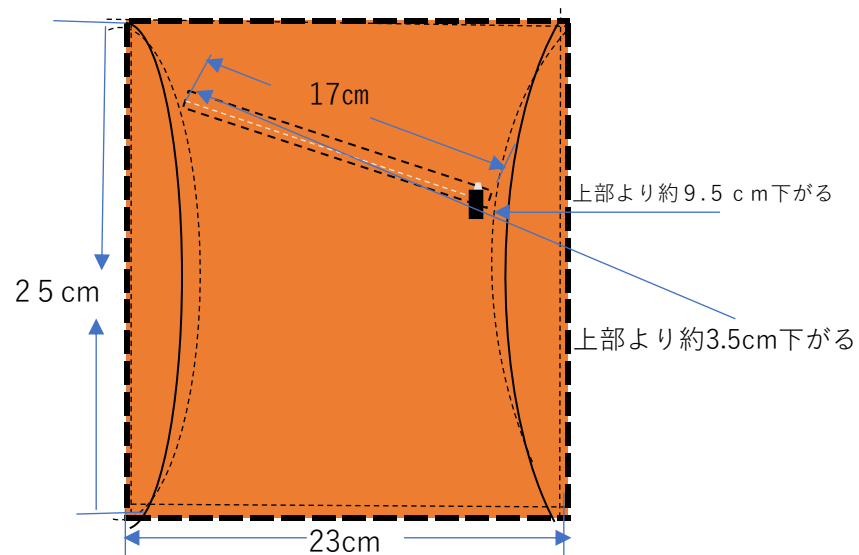
左胸 ネームプレート(暫定)



全体の刺し（ステッチ）標準サイズ



ズボンポケット（左）



バックプリント

背中ヨーク部 シルクプリント
縦 13 cm 横 33 cm

新潟県 新発田広域消防

SHIBATA FIRE DEPARTMENT

救急服 特記仕様書

新発田地域広域消防本部

1. 概要

この仕様は、発注者における救急服について定める。

2. 総則

- (1) 当救急服の製作に要する費用は、当初に契約したとおりとする。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが確認できるようにし納品すること。
- (5) 契約時に発注者の指示によりメーカーが発行した出荷引受証明書の提出を求める場合がある。
- (6) 仕様書の内容を受注者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (7) この仕様書に疑義を生じたときは、発注者の指示を受けなければならない。
- (8) 採寸は、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。
- (9) 仕様書内縫製上の数値は全て約表記とする。
- (10) 受注者は、原反生産者（紡績メーカー）の発行する「原反出荷引受証明書」及び指定生地を契約後7日以内に発注者に提出すること。

3. 品名及び数量

メーカー：(株)イマジョー製

TX9900VKF	救急活動服上衣	15 枚
TX9901SP	救急活動服ズボン	17 本

4. 形式

(1) 上衣

スタンドカラーフルジップ式、衿トリミング入り、両胸ファスナー式アウトポケット、左右胸ヨーク切り替え、肩章付き、カフス付きファスナー止め、背ヨーク切り替え、背中切り替え蓄光パイピング挟み込み、両肩部切り替え蓄光パイピング挟み込み、階級章台付き、裾シャツ型、背プリント入り

(2) 下衣

立体縫製及び立体裁断、ワンタック、両脇ポケット、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ8本付、左右後片玉縁ポケット（左釦止め）、裾ルイス仕上げ

5. 材料

(1) 生地

上衣

ア 素 材 日本毛織（株） NN504 難燃トロピカル

イ 混紡率 メタ系アラミド 50% パラ系アラミド 2%
 難燃レーヨン 24% 再生ポリエステル 24%
 ウ 色 相 グレー（指定色）
 エ 加 工 制菌加工

上衣副生地

ア 素 材 日本毛織（株） FX180 難燃トロピカル
 イ 混紡率 メタ系アラミド 55% 難燃レーヨン 30%
 再生ポリエステル 15%
 ウ 色 相 ネイビー（指定色）
 エ 使用箇所 背ヨーク、衿トリミング、肩章、カフス裏

ズボン

ア 素 材 日本毛織（株） NN502 難燃トロピカル
 イ 混紡率 メタ系アラミド 50% パラ系アラミド 2%
 難燃レーヨン 24% 再生ポリエステル 24%
 ウ 色 相 グレー（指定色）
 エ 加 工 制菌加工

(2) 資材

品名	規格	使用箇所
芯地	接着芯地	衿、カフス、見返し、玉縁、ポケット口
ファスナー YKK 製	・樹脂製 5.8cm～6.6cm 1.3cm 1.7cm ・金属製／3Y G 1.6cm～2.2cm	上衣前合わせ ※サイズにより変更 胸ポケット 袖口、カーゴポケット ズボン前合わせ ※サイズにより変更
面ファスナー < B面／ループ >	2.5cm×4cm	階級章台
蓄光パイピング	LFUC1200	肩切り替え、背ヨーク切り替え
前カン	金属	ズボン帯前合わせ中心
腰裏	4cm 巾	ズボン腰裏

6. 縫製条件

ア. 針 数

3cm 間で地縫いは12針以上、飾り縫いは12針以上、オーバーロックは8針以上とする。

イ. 穴かがり

ネムリ穴とする。

ウ. ボタン付け

機械付け、又は手付けとする。

手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻きは3回以上とする。

エ. 裁 縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテترون糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

オ. デザイン

立体構造のものとする。

カ. サイズ

体形に合わせてA体はスリムに、B体は若干のゆとりをもったサイズ構成をとること。

7. 縫製要領

(1) 上衣

ア. 衿

スタンドカラータイプとし、ファスナーは衿先までとする。

衿巾は中央で8cm、衿先は巾6cmとし、副生地にて衿周りを1.2cm幅で切り替えをいれる。

裏衿腰部分にステッチを6本かけ、衿腰より衿端にはジグザグステッチを9本かける。

衿裏にステッチを7本かけた半月型の当て布を衿中央下部に縫い付ける。

イ. 前合わせ

突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。

ファスナーは、見返しと挟み縫いしダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置にかんぬき止めをする。

ウ. 胸ヨーク、マイクフック

左右前身の胸の辺りで切り替え、上身頃側へステッチをかける。

両胸に上部に内側に幅1cm×長さ4cmのマイクフックを付ける。

エ. 肩章

巾は5cm(剣先側4cm)先三角形型とし周囲にステッチをかける。肩側は袖付け根に挟み、袖側より4cm入った位置で縫い止め、その間にクロスステッチをかける。

肩章先は縫い止めとする。

オ. 胸ポケット

幅16cm、高さ16.5cmの両玉縁ファスナー付きアウトポケットとし、上辺は胸ヨーク切り替えに挟み付けし、周囲はステッチで縫い付ける。

ファスナーは閉じて脇側とし、ポケット口の周囲にステッチをかけ両端はかんぬき止めをする。

左ポケット内側に幅2.5cmのペン差し口を設ける。

左胸ポケット内の脇側に4cm×5cmのペン差し用ループ(2本用)を付けること。

カ. 階級台

右胸上部に2.5cm×4cmの面ファスナー(ループ)を取り付ける。

左胸上部に指定文字 *別紙参照・詳細は協議の上決定する。

キ. 背ヨーク（蓄光パイピング入り）

副生地を使用した1枚仕立てV型ヨークとする。背ヨーク、肩章付け辺り位置で切り替え、蓄光パイピングを挟み縫いし、ヨーク側にステッチをかける。

大きさは中心で21cm（サイズにより変動）とする。

背ヨーク中央に指定デザインをプリントする。＊別紙参照・詳細は協議の上決定する。

ク. 脇身頃（ベンチレーション式）

脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続かし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。ベンチレーションホールは袖下布を上脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせ、前後身頃側にステッチをかける。

ケ. 袖

2枚袖としカフス幅6cmとする。袖口に2本タックを取り、ファスナーを付ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にダブルステッチをかける。袖開きは玉縁ファスナーとし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。

立体を持たせるために袖付け根後部にダーツをとること。

カフス裏は副生地を使用する。

コ. ペン差し

左袖付より8cm下に位置に幅4cm、深さ13cmのペン差しを付ける。

サ. 後身頃

後身頃は、ヨークと縫い合わせヨーク側へステッチをかける。

シ. 裾

シャツ型とし、三つ折り始末とする。

ス. 片布・品質表示

胸ポケット位置の身頃裏面に付ける。

セ. 衿吊り・サイズ表示

衿吊りは後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。

（2）下衣

ア. 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ. 前立て

左上前立てに芯を貼り、約35mm幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、かんぬき止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃にファスナーを挟みコバステッチをかける。

ウ. 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各1個付ける。ポケット口の長さ160mmとし、口の上下端にかんぬき止めをする。口には6mm幅のコバステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。右ポケットの袋布に小袋を縫い付ける。

エ. 後

左右のウエストに各1本のダーツを取り、外側に片倒しをする。後中心の尻縫いは割縫い、裁ち

目はオーバーロック始末をする。脇線と後中心の間(中心寄り)にベルト付け下より裾まで切り替え、脇側へ6mm幅ステッチをかける。後身を切り替えた中心側身頃の太腿辺りを斜めに切り替え下裾側へ6mm幅ステッチをかける。ダーツ、後身・内腿切替え部は臀部の突っ張り感を軽減させるために必要とする。

オ. 後ポケット

左右後に口幅10mm、口の長さ145mmの片玉縁ポケットを各1個付ける(玉縁作りミシン可)。ポケット周囲はコバステッチをかけ、口の両端はかんぬき止めをする。ポケット向こう布(表地)とし、袋布とはぎ合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。左後ろポケットのみ穴かがりボタン止めとする。

カ. 腰帯

マーベルト付きとする。前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。ファスナー上の前中心に前カンを付ける。

キ. ベルトループ

ベルト通し幅56mm、幅20mmのものを前タック位置、脇、後ダーツ位置、後2か所、合計8本付ける。ループ幅の下端はステッチをかける。

ク. シック

下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。股破れのないよう特別な処置を施すこと。

ケ. 裾

裾はシングル、オーバーロックのハーフ始末とする。

コ. 脇縫い

後へ片倒しとし、6mm幅ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

サ. 内股縫い

縫い割し、裁ち目はオーバーロック始末とする。

シ. 片布・品質表示・制菌認証マーク・警告表示

片布を左脇ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示・制菌認証マークを縫い付ける。警告表示を右脇ポケット裏面中央に縫付ける。

8. 寸法表 (単位: c m)

・ 上衣

部位 サイズ	着丈	肩幅	胸囲	裾丈
WS	72	41	92	70.5
ASS	72.5	43	96	72.5
A S	73	44	100	75
A M	75	46	105	78
A L	77	48	110	81
A L L	79	50	115	84
A 3 L	81	52	120	87
B S	73	48	110	75
B M	75	50	115	78
B L	77	52	120	81
B L L	79	54	125	84
B 3 L	81	56	130	87

・ ズボン

部 位 サイズ	ウエスト	渡り幅	ヒップ	股下
W61	61	31.5	93	
W64	64	32.5	95	
W67	67	33.5	97	
A 1	70	33.5	98	
A 2	73	33.5	100	
A 3	76	34.5	103	
A 4	79	34.5	106	
A 5	82	35	108	
A 6	85	35.5	111	
A 7	88	36.5	114	
B 2	91	38	119	
B 3	95	38.5	122	
B 4	100	39	125	
B 5	105	40	128	
B 6	110	41	132	

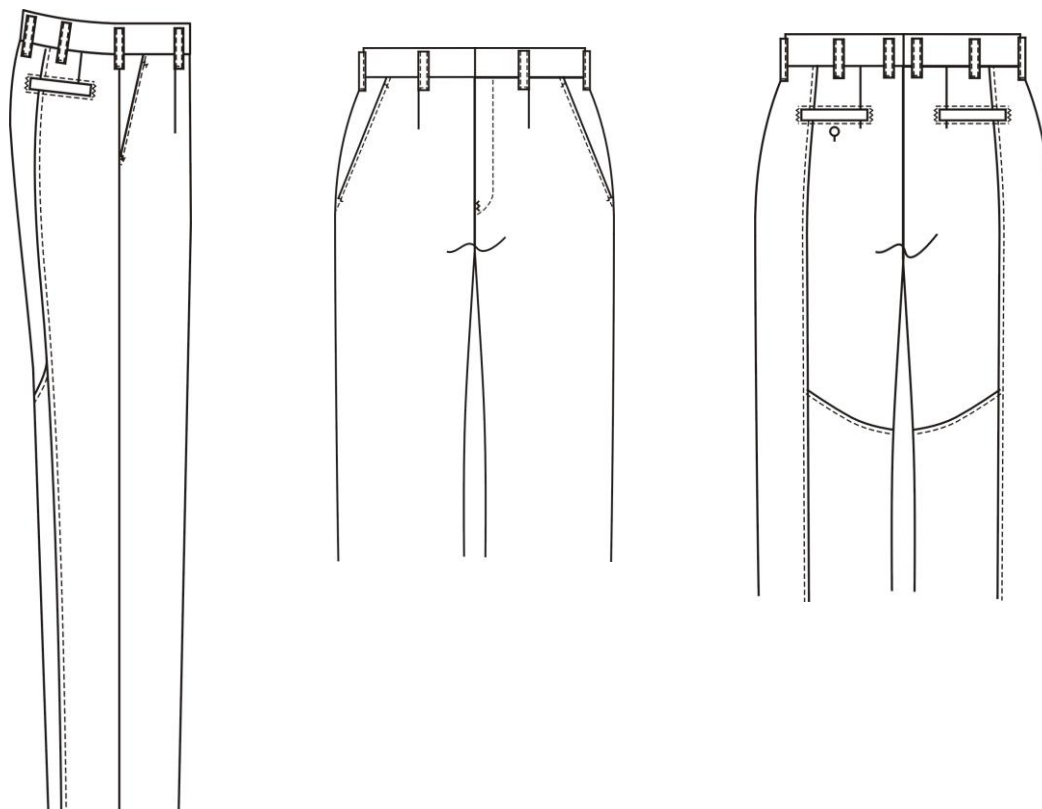
※採寸ゲージは全て股下 7 5 cm

9. 参考図

・上衣



・ズボン



左胸指定刺繍

新発田地域広域消防



【 白糸で 横 7. 5 c m 縦 2. 5 c m フルネーム 】

背中プリント



【 白プリント 横 3 2 c m 縦 1 3 c m 】

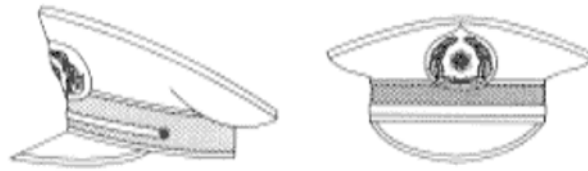
冬制帽 特記仕様書

第1 仕様

- 1 色／地質 濃紺の毛織物 日毛E169A 紺
- 2 制式 円形とし、前ひさし及びあごひもは紺色ビニールとする。
あごひもの両端は腰の両側において金色金属製消防章各1個で止める。
形状は下図のとおりとする。
- 3 き章 銀色金属製の消防章をモール製金色桜で抱くようにする。台地は地質と同様にする。
- 4 周章 帽の腰まわりには紺色のなな子織を巻き、消防司令以上の場合には、じゃ腹組金線及びじゃ腹組黒色線を、消防司令補の場合には、じゃ腹組黒色線を巻くものとする。形状及び寸法は下図のとおりとする。
- 5 製品 製品は甲株式会社の製造のものとする。

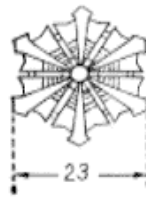
第2 その他

受注者は、原反生産者（紡績メーカー）の発行する『原反出荷引受証明書』及び指定生地を契約後7日以内に発注者に提出すること。



き 章

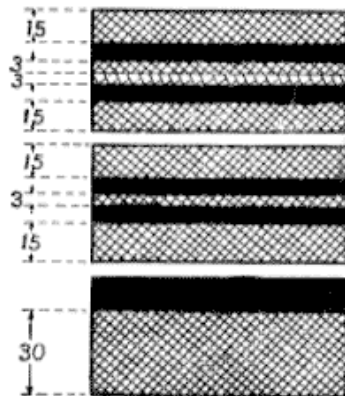
消 防 章



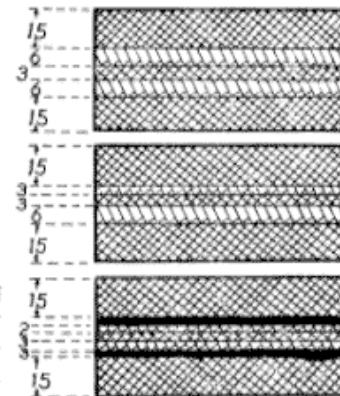
あごひも留
め 消 防 章



周 章



消 防 司 令
消 防 司 令 補
消 防 副 士 長
消 防 士 長



消 防 司 令 長
消 防 正 監
消 防 副 監
消 防 司 長

消防女性吏員用冬制帽

1. 使用材料

1) 生地一般

- ア. 原糸は糸ムラ、番手ムラ、織ムラなどのない良質のものを使用するものとする。
- イ. 織り上りは均整で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用するものとする

2) 主材料

区 分	仕 様
品 番	N K 6 0 0
混 紡 率	ウール 1 0 0 %
番 手	2 / 3 6 × 2 / 3 6
密 度	2 6 8 本以上×2 2 4 本以上（1 0 cm間）
重 量	3 0 8 g / m ²
強 度	縦4 0 k g 以上 横3 5 k g 以上
収 縮 率	3 % 以下
色 相	濃紺

2. 縫製

1) 天井・まち

天井は丸天型とする。

2) つば

端の周囲を折り返し、ミシンで縫付ける。
つば後部を帽体側に折り曲げる。

3) リボン

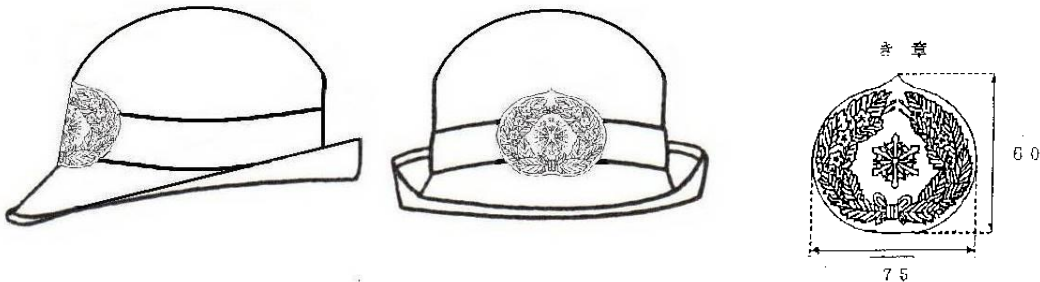
下端をつば元に密着させる。

4) き章

銀色金属製の消防章をモール製金色桜で抱くようにする。台地は地質と同様にする。

3. その他

- 1) 受注者は納品研修後であっても生地、付属品及び寸法等縫製上の欠陥が認められたときは、受注者の責任とし、無償で修理又は交換すること。
- 2) 受注者は、原反生産者（紡績メーカー）の発行する『原反出荷引受証明書』及び指定生地を契約後7日以内に発注者に提出すること。
- 3) 納品については、発注者の検収を受けた後、各署に納品すること。



夏制帽 特記仕様書

第1 仕 様

1 色／地質

濃紺の毛織物 日毛E L 1 6 9 A 紺

ウール30%・再生ポリエステル30%・ポリエステル40%

2 製 式

円形とし、前ひさし及びあごひもは紺色ビニールとする。

あごひもの両端は腰の両側において金色金属製消防章各1個で止める。

マチ部分は紺色メッシュを使用する。

形状は下図のとおりとする。

3 き 章

銀色金属製の消防章をモール製金色桜で抱くようにする。台地は地質と同様に
にする。

4 周 章

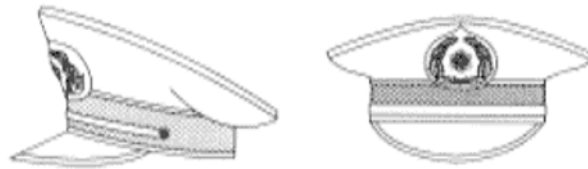
帽の腰まわりには紺色のなな子織を巻き、消防司令以上の場合には、じゃ腹
組金線及びじゃ腹組黒色線を、消防司令補の場合にはじゃ腹黒組色線を巻くも
のとする。形状及び寸法は下図のとおりとする。

5 製 品

製品は甲株式会社の製造のものとする。

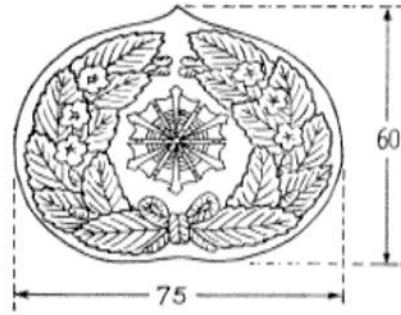
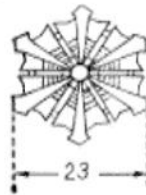
第2 その他

受注者は、原反生産者（紡績メーカー）の発行する『原反出荷引受証明書』及び指定生地
を契約後7日以内に発注者に提出すること。

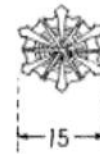


き 章

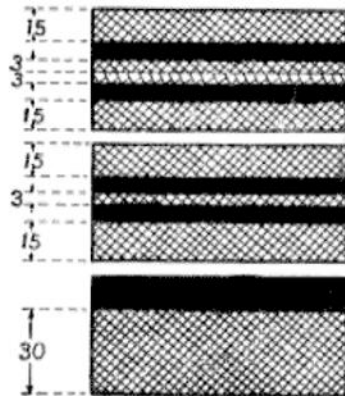
消 防 章



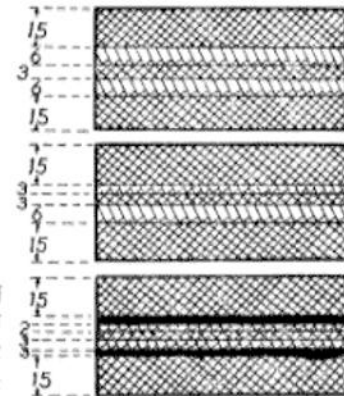
あごひも留
め 消 防 章



周 章



消 防 司 令
消 防 司 令 補
消 防 副 士 長
消 防 士 長



消 防 司 總 監
消 防 正 監
消 防 司 令 長

消防女性吏員用夏制帽

1. 使用材料

1) 生地一般

- ア. 原糸は糸ムラ、番手ムラ、織ムラなどのない良質のものを使用するものとする。
- イ. 織り上りは均整で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用するものとする

2) 主材料

区 分	仕 様
品 番	ニッケ エコ 1 3 0 2 N B トロピカル
混 紡 率	ポリエステル 7 0 % (再生糸 6 9 . 5 %) ウール 3 0 %
番 手	2 / 6 0 × 1 5 0 デニール
密 度	2 5 6 本 × 2 3 6 本以上 (1 0 cm間)
重 量	1 4 0 g / m ²
強 度	縦 6 0 k g 以上 横 5 0 k g 以上
収 縮 率	2 % 以下
耐 光 堅 牢 度	4 級以上
色 相	淡紺

2. 縫製

1) 天井・まち

天井は丸天型とする。

2) つば

端の周囲を折り返し、ミシンで縫付ける。

つば後部を帽体側に折り曲げる。

3) リボン

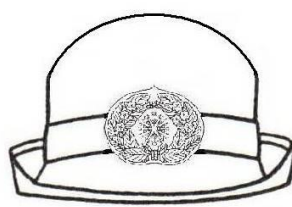
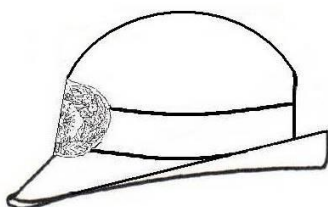
下端をつば元に密着させる。

4) き章

銀色金属製の消防章をモール製金色桜で抱くようにする。台地は地質と同様にする。

3. その他

- 1) 受注者は納品研修後であっても生地、付属品及び寸法等縫製上の欠陥が認められたときは、受注者の責任とし、無償で修理又は交換すること。
- 2) 受注者は、原反生産者（紡績メーカー）の発行する『原反出荷引受証明書』及び指定生地を契約後 7 日以内に発注者に提出すること。
- 3) 納品については、発注者の検収を受けた後、各署に納品すること。



アポロキャップ 特記仕様書

1 総則

- (1) 帽子つば部（庇）に月桂樹の刺繍、外側前面部及び後面部に指定の刺繍を施すこと。
- (2) 型式は、キャップ型、丸ワイド型とする。

2 材料及び規格

- (1) 使用生地

表生地	フーパイ紡織 梅花メッシュ 92Z 紺 (M-18)、若しくは同等品
裏生地	#838 (前裏を補強すること)、トリコットのり付き 黒 (裏を補強すること)
庇表・庇裏生地	本体と共生地
- (2) ひさし芯 黒 ポリエチレン 2.5mm厚保 Y 芯
- (3) テープ テトロン 黒
- (4) 穴かがり 同色の天穴6個 9mm
- (5) ひさし内ぐり T/C ブロード 黒 (解れを防止すること)
- (6) アジャスターYKK 製 プラスチック 黒
- (7) 汗 止 フィールドセンサー幅4cm (吸汗速乾素材) 黒
- (8) 天 鉛 芯プラスチック 共生地で包む。
- (9) 前立て #7509 ナイロン100%
- (10) 片 布 内側部に氏名等を記入できる号数片布を付けること。

3 仕 様

- (1) レンゲ6枚上方に穴かがりを入れる。
- (2) 丸ワイド型前身1枚とレンゲ6枚を縫い合わせ前立てを付ける。
- (3) 全ての網目をテープで包む。
- (4) ひさしは表・裏共に共生地でひさしを包み、ミシンで1本ステッチを入れる。
- (5) 後方に縦幅1.5cmのベルトを本体と共生地で作し、アジャスターの一方を取り付け、一方を帽子本体に取り付ける。
- (6) 天鉛を天井部分に穴をあけ打ち込む。

4 サイズ

サイズ表示	S	M	L	LL	3L
頭囲 (cm)	54～55	56～57	58～59	60～61	62以上

5 その他

- (1) 受注者は、原反生産者（紡績メーカー）の発行する『原反出荷引受証明書』及び指定生地を契約後 7 日以内に発注者に提出すること。
- (2) 繊維製品品質表示規程（平成 29 年消費者庁告示第 4 号）に定める方法等により氏名札の下部に印刷又は小片札にて表示する。

刺繍デザイン



FIRE DEPARTMENT
(シルバー KS-MS1)

SHIBATA (ロゴ)
(レッド KS-518)
(ホワイト KS-401)
(ゴールド KS-MG2)

(シルバー KS-MS1)



(シルバー KS-MS1)

ネクタイ 特記仕様書

1 仕様

(1)表素材

素材名	先染め、ジャガードネクタイ地、エコ仕様
品番	NA-300
混率	たて ポリエステル100%、55dtex(±10%) よこ ポリエステル90%(エコ糸)、165dtex(±10%)、アクリル10%、82dtex(±10%)
密度	たて 345本以上/3.8cm間 よこ 160本以上/3.8cm間
組織	レップ地合又は杉綾
色柄	別紙図のとおり 紺色(幅23mm)、白色(幅2mm)、オレンジ色(幅0.5mm)

(2)裏地

素材名	ネクタイ用裏地
混率	アセテート100%
色柄	黒

(3)芯地

素材名	ネクタイ用芯地
混率	ポリエステル100%
色柄	黒

(4)サイズ

大剣幅	約9.0cm(±0.3cm)
小剣幅	約4.0cm(±0.3cm)
全長	約140.0cm(±0.3cm)
ネーム	FIRE SERVICE

2 その他

繊維製品品質表示規程(平成29年消費者庁告示第4号)に定める方法等により、裏地部に小片札にて表示する。

別紙図



仕様書 新発田広域消防エンブレム



品 名	新発田広域消防エンブレム				
素 材	表 面 ベース地	シリコン樹脂 人工皮革	1.混用率	アクリル繊維 39% ポリエステル繊維 58% ポリウレタン樹脂 3%	
			2.性量	目付 260g/m ² ±10% 布厚 0.75mm±10%	
色	基布(ベース):紺, 月桂樹・柶・FIRRE DEPT.:金色、雪章：シルバー、 新発田広域消防（文字）：オレンジ、基布（雪章柶内）：オレンジ				
物 性	耐光堅牢度(4級)		4級	JIS L-0842	
	摩擦堅牢度	乾	4級	JIS L-0849	
		湿	4級		
	洗濯堅牢度	変	4級	JIS L-0844	
		汚	4級		
	ドライクリーニング 堅牢度	変	4級	JIS L-0860	
		汚	4級		
	水堅牢度	変	4級	JIS L-0846-1992	
		汚	4級	B法 16時間	
	貯蔵中昇華	変	4級	JIS L-0854	
		汚	4級 (綿)		
			4級 (ポリエステル)		
	汗堅牢度 酸性	変	4級	JIS L-0848	
		汚	4級 (綿)		
4級 (ポリエステル)					
汗堅牢度 アルカリ性	変	4級			
	汚	4級 (綿)			
		4級 (ポリエステル)			
仕 様	裏面：面ファスナー				
寸 法	A 71.5mm B 80.0mm	ABともに許容量±0.5mm とする			

・構造

彫刻金型に熱硬化性シリコン樹脂を充填し、周辺の不必要樹脂を掻き取り、その上に表面生地を置き熱板で押圧して硬化接着を行う。

- ・仕上げ

外形の抜き加工をする。

救急服ベルト 特記仕様書

品 目	素 材	長さ (m)		幅 (mm)	色	バックル	
		標準品	長尺品			形 状	き章
救急 (反射) ベルト	合成皮革	1.0	1.2	33	白	ローラー	署



救助服ベルト 特記仕様書

1 仕 様

(1) バックル

素材 : 鉄 メッキ ニッケル
方式 : 2本止め 取り外し式
鳩目 : 5個×2列 メッキ ニッケル
サルカン : 同色ナイロン製

(2) 帯

素材 : ナイロン100%
帯幅 : 38mm
帯厚 : 2.5mm
織組織 : 平二重織
経糸 : 地糸 1680D 154本
: 耳糸 840D 2本
: 芯糸 1680D 86本
: カラミ糸 1680D 18本
経糸 : 1680D 10.6本/cm
帯先 : 高周波 半丸カット
色合い : 黒色

(3) 寸法構成

普通 : 100cm 長尺 : 120cm

活動服二穴ベルト 特記仕様書

品 目	素 材	長さ (m)		幅 (mm)	色	バックル
		標準品	長尺品			
活動服二穴ベルト	ナイロン	0.9～1.2		40	中紺	専用 2 本ピン (取り外し可)



活動服ベルト 特記仕様書

1 仕 様

(1) ベルトは合繊維とし、銀色前金具の中央には消防紋章を付ける。

(2) 形状及び寸法は別図のとおりとする。

(3) バックル

ローラーバックル式 32mm用

メッキ : クロームメッキ

記章 : 署

(4) 帯

「糸」

メーカー : ユニチカ

番手 : 1880T

横糸 : 1880T 14本/cm

縦糸 : 平二重織 コール織

芯 : 1880T 60本

幅 : 32mm

染色 : 連続染色 4級以上

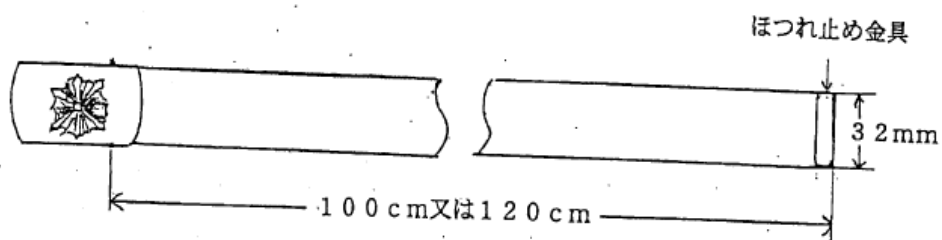
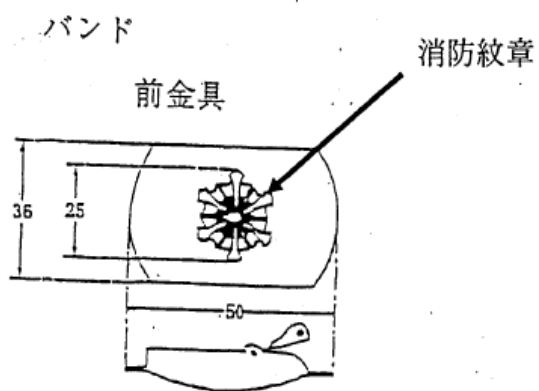
色合い : 中紺

(5) 寸法構成

普通 : 100cm

長尺 : 120cm

別図



盛夏服ベルト 特記仕様書

1 仕様

(1) ベルトは合繊維とし、銀色前金具の中央には消防紋章を付ける。

(2) 形状及び寸法は別図のとおりとする。

(3) バックル

ローラーバックル式 32mm用

メッキ : クロームメッキ

き章 : 署

(4) 帯

「糸」

メーカー : ユニチカ

番手 : 1880T

横糸 : 1880T 14本/cm

縦糸 : 平二重織 コール織

芯 : 1880T 60本

幅 : 32mm

染色 : 連続染色 4級以上

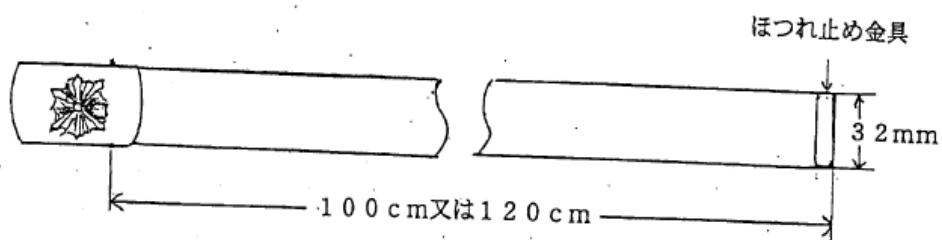
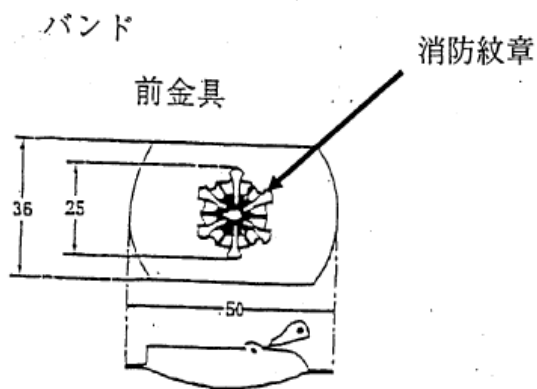
色合い : PB

(5) 寸法構成

普通 : 100cm

長尺 : 120cm

別図



制服用革ベルト 特記仕様書

1 仕様

(1)バックル

①本体(ベース)

材質 … 亜鉛 (98%～99%)
製法 … ダイキャスト
仕上 … 銀メッキ・ニッケルメッキ・サテナー(面)
クリアラッカー境付

②本体 (内側部分)「金色消防署き章(のせこ)と土台部分」

・消防署き章部分

材質 … 真鍮
製法 … 型打ち(プレス)
仕様 … 平彫カシメ棒ロウ付溶接凹部分砂打

・土台部分は材質・製法共本体①と同じ

(2)ベルト

材質 … 表面:牛革(牛革表示ができるもの)
裏面:ビニール
製法 … 切れ目・コバ塗り 同色ステッチ 5か穴
仕様 … 長さ100cm・120cm 幅30mm 色・黒

